

事業名	まちづくり協議会準備委員会			
所管課	まちづくり支援課（農林商工部）		一般会計予算	
事業の目的	地域コミュニティの充実、強化を図り、地域が主体となって身近な課題を解決できる組織の創設、育成を目指す「まちづくり協議会」を立ち上げるために準備委員会を設置する。	区分	No.	区分名
		款	6	商工費
		項	1	商工費
		目	7	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費		

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第6章 第1節 (2)市民の協働と参画の促進

事業の概要	<p>○委員構成 4地域から選出された委員、各種団体から選出された委員、県協働推進課等、20名以内で構成</p> <p>○委員会の開催 H23年度中は6回を予定</p> <p>[H23年度予算額] 準備委員会委員報酬: 411千円 消耗品その他: 90千円</p>	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	
		市 債	
		その他	
		一般財源	501
		H23 予算額	501
		前年度 予算額	0
		増減額	501

事業の成果	<p>○地域自治区や地域協議会の廃止後における市民主体のまちづくり組織が形成される。</p> <p>○行政側からの押しつけでなく、市民自らが考えることで、地域の実情に応じた活動しやすい組織が生まれる。</p>	特定財源の状況	
事業の目標	H23年度中における、まちづくり協議会の組織形態案の作成と協議会立ち上げのための準備		

備考	
----	--

事業名	宇陀市まちづくり活動応援補助金交付事業			
所管課	まちづくり支援課（農林商工部）		一般会計予算	
事業の目的	この補助金は、市内で活動する団体が行う新たな取組みに対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、市民による主体的及び地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的とする。	区分	No.	区分名
		款	6	商工費
		項	1	商工費
		目	7	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費		

根拠条例等	宇陀市まちづくり活動応援補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第6章 第3節 (2)市民活動の支援

事業の概要	産業・ものづくりの振興、観光振興、健康・福祉の推進及び児童生徒の健全育成推進、芸術・文化・スポーツ及び生涯学習の振興、景観美化、環境保全及び地域の安全推進などをテーマとしたNP Oや市民団体等が自ら主体的に取り組むまちづくり活動への補助 [H23年度予算額] 補助金：500千円×5件＝2,500千円 ※1事業あたりの補助上限額は500千円 審査委員会委員報酬：43千円 消耗品その他27千円	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	
		市 債	
		その他	
		一般財源	2,570
		H23 予算額	2,570
		前年度 予算額	0
		増減額	2,570

事業の成果	○市民活動が持つ特性を生かした市民ニーズに基づいた事業の実施 ○行政活動の補完、代行、補助的な事業実施 ○自立した活動ができる団体の育成	特定財源の状況
事業の目標	市民団体等が活動するうえでの課題である財源確保の面から活動を支援することによって、市民活動の活性化と団体の自立を図るとともに、市民参加のまちづくりを推進する。	

備考	
----	--

事業名	空き家情報バンク設置・定住促進奨励金交付事業	
-----	------------------------	--

所管課	まちづくり支援課（農林商工部）
-----	-----------------

事業の目的	<p>空き家及び空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。 また、市の人口増加と定住化により活力あるまちづくりを推進するため、市外からの定住者に定住促進奨励金を交付する。</p>
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	8	産業振興費
細目	1	産業振興費

根拠条例等	「宇陀市空き家情報バンク設置要綱(予定)」・「宇陀市定住促進奨励金交付要綱(予定)」
総合計画	基本計画 第3章 第1節 (2)定住環境の整備

事業の概要	<p>【空き家情報バンク】 過疎地等で空き家となっている物件情報を把握し、有効活用を促す。市街地周辺の物件と、過疎地域の物件を宅地建物取引業者を介して集約し、さらに市所有の分譲宅地を含め、選択肢を広げた空き家情報を「空き家情報バンク」として市外からの移住希望者に提供する。</p> <p>[H22年度補正予算額](繰越明許) チラシ印刷料：105千円 パンフレット作成料：420千円 周知広告料：150千円 インターネット広告料：105千円</p> <p>【定住促進奨励金】 市外からの転入者で、市内住宅を取得または新築する者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。</p> <p>[H23年度予算額] 定住促進奨励金：100千円×20件＝2,000千円</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	702
県費	
市債	
その他	
一般財源	2,078
H23 予算額	2,780
前年度 予算額	0
増減額	2,780

事業の成果	<p>少子高齢化に加え、若者の流出等により人口・世帯数が減少している。これは市財政の悪化を助長するだけでなく、地域活力の低下も招いている。これらの問題を解消するため、空き家情報バンクの運営による定住促進を図る。</p>
-------	---

特定財源の状況
<p>きめ細かな交付金 702千円</p>

事業の目標	市外からの定住促進を図る。
-------	---------------

備考	
----	--

事業名	結婚支援事業				
所管課	まちづくり支援課 (農林商工部)				
事業の目的	結婚を望む独身の男女に対し、新たな出会いの創出や結婚のきっかけづくりを支援することにより、少子化の要因のひとつである未婚化・晩婚化の対策を図る。				
			一般会計予算		
			区分	No.	区分名
			款	6	商工費
			項	1	商工費
目	8	産業振興費			
細目	1	産業振興費			

根拠条例等	「宇陀市結婚支援事業実施要綱(予定)」
総合計画	序論 第3章 第4節 6. 中心市街地の求心力の回復と若者を中心とした定住化の促進

事業の概要	<p>独身の男女が出会うためのカップリングパーティー等を企画・実施する。実施に際しては、なら出会いセンターと協力し、市社会福祉協議会に委託して実施する。 なお、カップリングパーティーを経て結婚に至ったカップルが一定の要件を満たすとき、結婚成立祝い金を進呈する。</p> <p>[H22年度補正予算額](繰越明許) 委託料：670千円 結婚成立祝い金：50千円×2件=100千円</p>	財源の内訳	
		分担金	
事業の成果	<p>出会いの場を設け結婚成立を目指し、定住促進を図る。また、市として結婚支援事業に係わることで、地域全体で結婚を応援する機運を高める。</p>	使用料	
		国 費	603
事業の目標	<p>カップリングパーティー等を通じ、宇陀市に愛着を持ったカップルの成立を目指し、定住促進を図る。</p>	県 費	
		市 債	
備 考		その他	
		一般財源	167
		H23 予算額	770
		前年度 予算額	0
		増減額	770
		特定財源の状況	
		きめ細かな交付金 603千円	

事業名	総合計画後期基本計画策定事業
-----	----------------

所管課	企画課（総務部）
-----	----------

事業の目的	総合計画は、自らのまちづくり行う地方自治の原点であり、宇陀市のまちづくりの進むべき方向と目標を明らかにし、その実現に向けて市民と行政がそれぞれの役割に応じて、主体的にまちづくりを進めていくための行動指針となるものである。
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	2	総合計画費

根拠条例等	地方自治法第2条第4項
総合計画	

事業の概要	宇陀市総合計画は平成20年度～平成29年度の10年間の基本構想であるが、平成24年度で前期基本計画が終了する。基本計画は、基本構想の描く将来像、目標などを実現化するための基本的な考え方や施策の展開を分野ごとに明らかにするものである。前期基本計画を検証し、後期基本計画を策定準備をしていく。
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	1,075
県費	
市債	
その他	
一般財源	
H23 予算額	1,075
前年度 予算額	0
増減額	1,075

事業の成果	基本計画前期5年間を検証した上で、後期基本計画に反映させていく。
-------	----------------------------------

特定財源の状況
合併市町村補助金 1,075千円

事業の目標	今年度は、後期基本計画策定に向けての、前期基本計画の検証などを行う。
-------	------------------------------------

備考	
----	--

事業名	宇陀市人権意識調査業務			
所管課	人権推進課（市民環境部）		一般会計予算	
事業の目的	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」及び「宇陀市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことを目指す条例」等に基づき、今後の人権施策の指針とする「人権施策基本計画」を策定します。本年度は、市民の人権意識を把握するために、人権意識調査を実施し基本計画策定の基礎資料とします。	区分	No.	区分名
		款	3	民生費
		項	1	社会福祉費
		目	7	人権行政推進費
細目	1	人権行政推進費		

根拠条例等	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」「宇陀市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことを目指す条例」
総合計画	第4章第1節 だれもが尊重される共生のまちづくり

事業の概要	宇陀市人権意識調査業務委託料 1,800(平成23年度)	財源の内訳	
	宇陀市人権施策基本計画策定業務委託料 3,000(債務負担行為24年度)	分担金	
		使用料	
		国費	1,800
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	
		H23 予算額	1,800
		前年度 予算額	0
		増減額	1,800

事業の成果	市民が現在人権課題等にどのような意識を持っているのかを現状を調査し、今後の人権施策を推進していく上での参考資料とする。 又、調査結果を基に、職員研修や各種団体の研修に活かす。	特定財源の状況
事業の目標	一人ひとりの人権を尊重しあい、誰もが尊重される共生のまちづくりを目指す。	合併市町村補助金 1,800千円
備考		

事業名	子ども医療費助成事業	
-----	------------	--

所管課	保険年金 課 (市民環境 部)
-----	-----------------

事業の目的	<p>乳幼児等を養育している者に対して、当該乳幼児等に係る医療費の一部を助成し、もって乳幼児等の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。</p> <p>平成22年度は、10月診療分から対象に、小学校卒まで入院医療費の無料化を実施。</p> <p>平成23年度は、中学卒業まで拡大して実施する。</p>
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等 総合計画	宇陀市子ども医療費助成条例・助成条例施行規則
---------------	------------------------

事業の概要	平成23年度 予算積算概要				
	対象者	乳幼児	22年度開始	23年度新規	計
		0歳～就学前	小学1年～6年	中学1年～3年	
	区分	県補助対象	市単独	市単独	
	需用費	101			101
	役務費	767	20	128	915
	扶助費 (医療費)				
	県対象	21,130			21,130
	市単独	1,932	4,500	2,163	8,595
					29,725
				500	
小計	23,062	4,500	2,163	29,725	
貸付金	200	150	150	500	
償還金、 利子割引料	1			1	
計	24,131	4,670	2,441	31,242	
		7,111			
		(子ども医療入院無料化)			
事業の成果	<p>平成21年度 乳幼児医療費 決算22,090,916円</p> <p>対象者数・・・1379人(平成22年3月31日)</p>				
事業の目標	<p>乳幼児等を養育している者に対して、当該乳幼児等に係る医療費の一部を助成し、もって乳幼児等の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。</p>				
備考					

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	10,780
市 債	
その他	1,194
一般財源	19,268
H23 予算額	31,242
前年度 予算額	26,364
増減額	4,878

特定財源の状況
<p>乳幼児医療費助成事業 補助金 10,780千円</p>

事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種事業				
所管課	健康増進課（健康福祉部）				
事業の目的	子宮頸がんは、子宮頸部にできるがんで、20～30代で急増し、日本では年間15,000人の女性が発症していると報告されています。子宮頸がんは、初期の段階では自覚症状がほとんどないため、しばしば発見が遅れてしまいます。このような状況を未然に防ぐために、子宮頸がんワクチンを接種し、がん予防を推進することを目的としています。				
			区分	No.	区分名
			款	4	衛生費
			項	1	保健衛生費
			目	2	予防費
細目	1	本庁予防費			

根拠条例等	平成22年11月26日付け健発1126第8号厚生労働省健康局長及び厚生労働省医薬食品局長通知
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「子宮頸がん予防ワクチン接種事業」	財源の内訳	
	計画年度 平成23年度 計画の概要 平成23年度に在学する中学校1年～3年生の女子生徒を対象として、子宮頸がん予防ワクチン接種料金を助成する。 1人3回接種 15,939円/1回(内自己負担1,500円) ※あくまでも任意接種である。 事業費 9,355千円 内訳 委託料 9,100千円 ・ 事務費 255千円	分担金	
事業の成果	子宮頸がん予防ワクチン接種をすることにより、子宮頸がんの発症を未然に防止し、がん発生率抑えることができる。	使用料	
		国費	
事業の目標	増加する子宮頸がんを予防するため、子宮頸がん予防ワクチン接種料金助成し、市民の健康保持・増進に努める。 また、定期接種化に向けて国へ要望していく。	県費	4,657
		市債	
備考		その他	
		一般財源	4,698
		H23 予算額	9,355
		前年度 予算額	0
		増減額	9,355
		特定財源の状況	
		子宮頸がん等ワクチン 接種事業補助金 県費 委託料4,550千円 " 事務費107千円	

事業名	ヒブワクチン予防接種事業				
所管課	健康増進課（健康福祉部）				
事業の目的	乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するために、ヒブワクチン予防接種料金を助成することにより、接種の勧奨に努め、乳幼児の健康の保持・増進に努める。				
			区分	No.	区分名
			款	4	衛生費
			項	1	保健衛生費
			目	2	予防費
細目	1	本庁予防費			

根拠条例等	平成22年11月26日付け健発1126第8号厚生労働省健康局長及び厚生労働省医薬食品局長通知
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「ヒブワクチン予防接種事業」	財源の内訳	
	<p>計画年度 平成23年度</p> <p>計画の概要 市内に在住する0歳から4歳児を対象に、ヒブワクチン接種料金を助成する。(4回～1回接種) 8,852円/1回(内自己負担 800円)</p> <p>※あくまでも任意接種である。</p> <p>事業費 7,300千円 (委託料 7,300千円)</p>	分担金	
事業の成果	ヒブワクチン予防接種をすることにより、乳幼児に死亡や重い後遺症を残すことのある小児細菌性髄膜炎への感染を予防することができる。	使用料	
		国 費	
事業の目標	日本では年間600人もの子どもがヒブによる髄膜炎にかかっていたと推定され、これらの重症感染症を予防し、乳幼児の健康保持・増進に努める。また、定期接種化に向けて国へ要望していく。	県 費	3,650
		市 債	
備 考		その他	
		一般財源	3,650
		H23 予算額	7,300
		前年度 予算額	0
		増減額	7,300
		特定財源の状況	
		子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金	
		県費 3,650千円	

事業名	小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業	
所管課	健康増進課（健康福祉部）	
事業の目的	乳幼児の肺炎・髄膜炎や急性中耳炎などの重症な細菌感染を予防するために、小児用肺炎球菌ワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努め、乳幼児の健康保持・増進に努める。	
	区分	No.
	款	4
	項	1
	目	2
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	平成22年11月26日付け健発1126第8号厚生労働省健康局長及び厚生労働省医薬食品局長通知
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業」	財源の内訳	
	<p>計画年度 平成23年度</p> <p>計画の概要 市内に在住する0歳から4歳児を対象に、小児用肺炎球菌ワクチン接種料金を助成する。(4回～1回接種)</p> <p style="text-align: center;">11,267円/1回(内自己負担 1,100円)</p> <p>※あくまでも任意接種である。</p> <p>事業費 11,000千円（委託料 11,000千円）</p>	分担金	
事業の成果	小児用肺炎球菌ワクチン予防接種をすることにより、乳幼児に死亡や重い後遺症を残ることのある小児細菌性髄膜炎や重症な細菌感染を予防することができる。	使用料	
		国 費	
事業の目標	小児用肺炎球菌ワクチンは、生後2か月から接種することができ、肺炎球菌による重い感染症を予防し、乳幼児の健康保持・増進に努める。また、定期接種化に向けて国へ要望していく。	県 費	5,500
		市 債	
備 考		その他	
		一般財源	5,500
		H23 予算額	11,000
		前年度 予算額	0
		増減額	11,000
		特定財源の状況	
		子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金	
		県費 5,500千円	

事業名	療育教室「こあら教室」開設事業			
所管課	福祉 課 (健康福祉 部)		一般会計予算	
事業の目的	発達障害児及びその保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行い、障害のある子ども達の心身の健康な発達を助長し、援助する。	区分	No.	区分名
		款	3	民生費
		項	1	社会福祉費
		目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費		

根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱
総合計画	基本計画 第2章第4節 障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち

事業の概要	発達障害児の早期療育の場とし、指導者の充実と関係機関と積極的に交流し教室機能の一層の充実を図る。	財源の内訳	
	賃金 発達相談員12回×15,000円=180,000円	分担金	
	保育士45回×7時間×940円×5人=1,480,500円	使用料	
	交通費12回×1,000円+45回×5人×1,000円=237,000円	国 費	
	講師謝礼 200,000円	県 費	
	消耗品費 100,000円	市 債	
	食糧費(教室おやつ代) 200円×10人×12回=24,000円	その他	2,435
	障害保険料 10人×45回×30円=13,500円	一般財源	
	備品購入費 200,000円	H23 予算額	2,435
	合計 2,434,500円	前年度 予算額	958
	増減額	1,477	

事業の成果	発達相談員(臨床心理士等)の指導のもとに、これまでの療育の一層の充実と個別指導プログラムも取り入れ成長発達を促す。	特定財源の状況	
事業の目標	児の健康な身体をつくり、集団保育をとおして社会性や協調性を養い、且つ保護者の相談にも対応し、また保護者同士の交流を図る。	地域づくり推進基金繰入金 (住民生活に光をそそぐ交付金積立分)	
備 考		2,435千円	

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業	
-----	----------------	--

所管課	保険年金 課 (市民環境 部)
-----	------------------

事業の目的	<p>母子家庭の母子の健康の健康保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もって、母子家庭の母子の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>平成23年8月からは、県が父子家庭まで拡大し、ひとり親家庭等福祉として実施することに伴い当市も実施</p>
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	7	ひとり親家庭等福祉費
細目	1	本庁ひとり親家庭等福祉費

根拠条例等 総合計画	宇陀市母子医療費助成条例・助成条例施行規則(23年3月議会で「ひとり親家庭等医療費」名称変更)
---------------	---

事業の概要	平成23年度 予算積算概要			
			平成23年度新規	
	区分	母子医療	父子医療	計
	需用費	22		22
	役務費	273	14	287
	委託料		500	500
	扶助費(医療費)			
	県対象	10,277	600	10,877
	市単独	2,011	0	2,011
	小計	12,288	600	12,888
貸付金	150	150	300	
償還金、利子及び割引料	1		1	
計	12,734	1,264	13,998	

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	5,505
市 債	
その他	832
一般財源	7,661
H23 予算額	13,998
前年度 予算額	15,072
増減額	13,998

事業の成果	<p>平成21年度 母子医療費 決算13,016,650円</p> <p>対象者数・・・654人(平成22年3月31日)</p>
-------	--

事業の目標	母子家庭の母子の健康の保持を図るため、その医療費の一部を助成し、もって、母子家庭の母子の生活の安定と福祉の向上に寄与すること(23年度より、父子家庭に拡大し「ひとり親家庭等」に名称変更)
備考	

特定財源の状況	
ひとり親家庭等医療費助成 事業補助金	
県費	5178千円
福祉医療費助成 事務費補助金	
県費	327千円
雑入	832千円

事業名	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)
-----	-------------------------

所管課	福祉課(健康福祉部)	一般会計予算		
事業の目的	すべて乳児のいる家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う。	区分	No.	区分名
		款	3	民生費
		項	2	児童福祉費
		目	1	児童福祉総務費
		細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	次世代育成支援対策交付金交付要綱
総合計画	基本計画 第2章第5節 子育て支援が充実したまち

事業の概要	平成23年度予算概要	財源の内訳	
	・4,500円×190件=855,000円	分担金	
	・1件当たり4,500円で宇陀市の助産師会へ委託	使用料	
	・22年度まで健康増進課で行っていた新生児訪問事業より移行	国費	608
	・対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに1回訪問することを原則とする。訪問により支援等が必要な家庭に対しては、必要に応じて、個別ケースごとに具体的なサービスの種類や内容等について、関係者とケース対応会議を開催し、その結果を踏まえ、支援の方法を検討していく。	県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	247
		H23 予算額	855
		前年度 予算額	540
	増減額	315	

事業の成果	平成21年度決算	平成22年度予算	特定財源の状況
	新生児訪問事業	517,500円	
			次世代育成支援対策交付金 608千円

事業の目標	乳児はもちろんのこと、出産後間もない養育者に対するケアを行い、育児ストレス、産後のうつ状態、育児ノイローゼ等による子どもへの虐待を未然に防ぎ、健やかな育ちを支援する。
備考	

事業名	乳幼児用補助装置貸与事業	
-----	--------------	--

所管課	福祉課（健康福祉部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	新生児から6ヶ月未満の乳児を保護養育している人を対象に、チャイルドシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。	
	区分	No.
	区分名	
	款	3 民生費
	項	2 児童福祉費
目	1 児童福祉総務費	
細目	1 本庁児童福祉総務費	

根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱
-------	-----------------------------------

総合計画	基本計画 第2章第5節 子育て支援が充実したまち
------	--------------------------

事業の概要	平成23年度予算概要	財源の内訳	
	<ul style="list-style-type: none"> ・8,600円×40件×1.05=361,200円 ・ダスキンレンタルオール奈良ステーションと委託契約書を結び、申請者には直接業者からベビーシートが貸与される。 	分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	362
		H23予算額	362
		前年度予算額	362
		増減額	0

事業の成果	平成21年度決算	平成22年度予算
	幼児用補助装置貸与事業	426,510円

事業の目標	宇陀市の少子化対策の一環として、道路交通法により着用が義務付けられている幼児用補助装置を貸与することにより、乳児の安全確保並びにベビーシートの安全性の理解及び普及に資し、もって保護者の経済的負担の軽減及び子育てを支援する。	特定財源の状況

備考	
----	--

事業名	地域子育て支援拠点事業				
所管課	学校教育課（教育委員会事務局）				
事業の目的	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				
			一般会計予算		
			区分	No.	区分名
			款	3	民生費
			項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費			
細目	3	本庁子育て支援センター費			

根拠条例等	◆児童福祉法第6条の2第6項 ◆宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則
総合計画	基本計画 第2章 第5節 『子育て支援が充実したまち』(子育て支援の充実)

事業の概要	平成23年度 予算積算概要 [単位：千円]		財源の内訳	
			分担金	
	講師謝礼(栄養士・歯科衛生士等)	50	使用料	
	支援センター行事記念品等	103	国費	
	旅費	10	県費	
	運営消耗品	290	市債	
	燃料代	27	その他	95
	印刷製本費(写真・封筒ほか)	100	一般財源	2,030
	光熱水費(電気)8ヶ月分:4ヶ月は保健C	880	H23 予算額	2,125
	光熱水費(水道)8ヶ月分	48	前年度 予算額	961
	光熱水費(ガス)8ヶ月分	24	増減額	1,164
	医薬材料費	20	特定財源の状況	
	通信運搬費(電話代・郵送料)	234	雑入 親子教室登録料	75
	手数料(クリーニング・調律・検便・ごみ)	56	雑入 サークル登録料	20
	傷害・ボランティア保険	68		
コピー借上料	144			
原材料費(砂場)	10			
総合体育館借上料	35			
研修会参加負担金	26			
計	2,125	計	95	
事業の成果				
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援サービスを充実させ、子育て家庭が必要とする情報の提供や地域における子育てネットワークの形成など、地域資源を活用した取り組みを推進する。 ・子どもが健やかに育つため、保護者に対する講習や教室など、子育てに対する教育・相談事業の充実を図る。 ・子どもや保護者、地域、世代間等、自由で気軽な交流・サークル活動などができる環境を整える。 			
備考				

事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金(子どもフェスタ2011)					
所管課	生涯学習課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費				
細目	1	本庁青少年活動費				

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章第4節 生涯学習の充実 地域教育力の醸成

事業の概要	平成23年度積算概要	財源の内訳	
	実行委員会補助金 558	分担金	
事業の成果	子どもフェスタ2010(H22年度) 参加者 約1,500人 テーマ つながれ心！ ひろがれ笑顔！ 内容 紙ひこうき大会・チャレンジランキング・大声コンテスト タイムトンネル・音楽コンサート・人形劇・ジュースの釣堀等	使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	558
		H23 予算額	558
前年度 予算額	558		
増減額	0		
事業の目標	子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。	特定財源の状況	
備考			

事業名	児童措置費(子ども手当等)			
所管課	福祉 課 (健康福祉 部)		一般会計予算	
事業の目的	区分	区分名	款	
			項	
			目	
			細目	
			2	民生費
			2	児童福祉費
			2	児童措置費
			1	本庁児童措置費
・児童扶養手当・・・父母が離婚するなどして、父又は母の一方からしか養育を受けられないひとり親家庭などの児童のため支給する ・子ども手当・・・次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、中学校終了前までの子どもについて支給する。				

根拠条例等	子ども手当法、児童扶養手当法
総合計画	基本計画 第2章第5節 子育て支援が充実したまち

事業の概要	・児童扶養手当・・・受給資格者(ひとり親家庭の父や母など)が看護 養育する子どもの数や受給資格者の所得により決定 児童1人の場合 41,720円、一部支給 41,720円~9,850円 児童2人以上の加算額 2人目 5,000円、3人目以降 3,000円 受給者数 母子該当227名 父子該当17名(平成22年12月現在) 平成23年度予算額 104,173千円		財源の内訳																			
	・子ども手当・・・3歳未満の子ども一人につき月額20,000円を、3歳以上中学校終了までの子ども一人につき月額13,000円を支給する。 3歳未満の子どもについて22年度より7,000円増額 受給者には所得制限は設けない。 平成23年度予算額 528,024千円 対象者3,115名予定		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国 費</td><td>453,624</td></tr> <tr><td>県 費</td><td>54,712</td></tr> <tr><td>市 債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>125,169</td></tr> <tr><td>H23 予算額</td><td>633,505</td></tr> <tr><td>前年度 予算額</td><td>527,261</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>106,244</td></tr> </table>	分担金		使用料		国 費	453,624	県 費	54,712	市 債		その他		一般財源	125,169	H23 予算額	633,505	前年度 予算額	527,261	増減額
分担金																						
使用料																						
国 費	453,624																					
県 費	54,712																					
市 債																						
その他																						
一般財源	125,169																					
H23 予算額	633,505																					
前年度 予算額	527,261																					
増減額	106,244																					

事業の成果	平成21年度決算	平成22年度予算	特定財源の状況	
	児童扶養手当	93,553千円		95,296千円
	子ども手当 (児童手当)	0千円 188,770千円		244,020千円 187,500千円
事業の目標	児童扶養手当・・・児童が養育されている家庭の生活の安定と自立を助け、児童の健全育成を図る。 子ども手当・・・次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する。		国費 453,624千円 県費 54,712千円	
備考				

事業名	障害児地域参加交流促進事業(にこにこの部屋開設)
-----	--------------------------

所管課	福祉課(健康福祉部)	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	夏期休業期間中、居住地でくらすことになり、地域の人々との交流や行事等へ参加する機会が少なくなる特別支援学校等に通学する児童・生徒に対し、個々の特性に応じた日常の生活指導を行いながら、地域住民との交流を通じて障害児(者)への理解を図る。		
	区分	No.	区分名
	款	3	民生費
	項	1	社会福祉費
	目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費	

根拠条例等	宇陀市障害児地域参加交流促進事業実施要綱(策定中)
-------	---------------------------

総合計画	基本計画 第2章第4節 障害のある人がいきいきと暮らせるまち
------	--------------------------------

事業の概要	事業主体は宇陀市。障害児地域参加促進事業を3業者に委託予定。夏期休業における障害児の居場所づくりとして、長期間の休業により乱れがちな日常生活習慣を保持するとともに、障害児の健康管理を図る。	財源の内訳		
	また、学年を超えた交流を図ることにより、人に対する接し方を学び、工場見学、地域活動に参加すること等を通じて社会性を学ぶ。	分担金		
		使用料		
		国費		
		県費		
		市債		
		その他		4,472
		一般財源		
		H23 予算額		4,472
		前年度 予算額		657
		増減額		3,815

事業の成果	家に引きこもりがちな障害児の居場所づくりができる。	特定財源の状況	
	家族の介護負担軽減につながるるとともに、障害児が地域の活動に参加することにより、地域とのつながりができ、地域全体での見守りに繋がる。	地域づくり推進基金繰入金(住民生活に光をそそぐ交付金積立て分)4,472千円	

事業の目標	小中学校生等との交流並びに地域社会参加を図ることにより、特別支援学校に通学する障害児が地元とかかわり、地元と密着することにより、地域全体で見守り、障害児が安心して生活がおくれるようにする。
-------	--

備考	
----	--

事業名	心身障害者医療費助成事業			
所管課	保険年金 課 (市民環境 部)		一般会計予算	
事業の目的	心身障害者に対し医療費の一部を助成し、もって、心身障害者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。	区分	No.	区分名
		款	3	民生費
		項	1	社会福祉費
		目	2	障害者福祉費
		細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市心身障害者医療費助成条例/宇陀市心身障害者医療費助成条例施行規則
総合計画	

事業の概要	平成23年度 予算積算概要	財源の内訳																																						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="background-color: yellow;">区分</th> <th style="background-color: yellow;">心身障害者医療</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">394</td> </tr> <tr> <td>扶助費 (医療費)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県単分</td> <td style="text-align: right;">47,833</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">市単分</td> <td style="text-align: right;">5,451 (市独自の施策、所得制限を撤廃)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: right;">53,284</td> </tr> <tr> <td>貸付金</td> <td style="text-align: right;">300</td> </tr> <tr> <td>償還金、 利子及び 割引料</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">53,979</td> </tr> </tbody> </table>	区分	心身障害者医療	役務費	394	扶助費 (医療費)		県単分	47,833	市単分	5,451 (市独自の施策、所得制限を撤廃)	小計	53,284	貸付金	300	償還金、 利子及び 割引料	1	計	53,979	<table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国 費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 費</td> <td style="text-align: right;">19,388</td> </tr> <tr> <td>市 債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">9,867</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">24,724</td> </tr> <tr> <td>H23 予算額</td> <td style="text-align: right;">53,979</td> </tr> <tr> <td>前年度 予算額</td> <td style="text-align: right;">61,127</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td style="text-align: right;">▲7,148</td> </tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国 費		県 費	19,388	市 債		その他	9,867	一般財源	24,724	H23 予算額	53,979	前年度 予算額	61,127	増減額
区分	心身障害者医療																																							
役務費	394																																							
扶助費 (医療費)																																								
県単分	47,833																																							
市単分	5,451 (市独自の施策、所得制限を撤廃)																																							
小計	53,284																																							
貸付金	300																																							
償還金、 利子及び 割引料	1																																							
計	53,979																																							
分担金																																								
使用料																																								
国 費																																								
県 費	19,388																																							
市 債																																								
その他	9,867																																							
一般財源	24,724																																							
H23 予算額	53,979																																							
前年度 予算額	61,127																																							
増減額	▲7,148																																							
事業の成果	平成21年度 心身障害者医療費 決算54,333,204円 対象者数・・・398人(平成22年3月31日)	特定財源の状況																																						
事業の目標	心身障害者に対し医療費の一部を助成し、もって、心身障害者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。	心身障害者医療費助成事業補助金 19,272千円																																						
		福祉医療費助成事務費補助金 116千円																																						
		雑入 9,867千円																																						
備 考																																								

事業名	老人医療費助成事業	
-----	-----------	--

所管課	保険年金 課 (市民環境 部)
-----	------------------

事業の目的	老人に対し医療費の一部を助成し、もって、老人の心身の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
細目	1	本庁 老人福祉費

根拠条例等	宇陀市老人医療費助成条例/宇陀市老人医療費助成条例施行規則
総合計画	

事業の概要	平成23年度 予算積算概要		
	区分	金額	区分
	役務費	216	
	負担金、補助及び交付金	338,040	後期高齢者広域連合会負担金
	扶助費(医療費) 県単分	24,990	重度心身障害老人等医療費
	市単分	2,949	重度心身障害老人等医療費
		500	老人医療費
	小計	3,449	
	計	28,439	
	償還金、利子及び割引料	1	老人医療費等県補助金返還金
	繰出金	118,170	後期高齢者医療特別会計繰出金
	総合計	484,866	
事業の成果	平成21年度 ○老人医療費 決算11,306,247円 対象者数・・・56人(平成22年3月31日) ○重度心身障害老人等医療費一部負担金助成金25,612,879円 対象者数・・・451人(平成22年3月31日)		
事業の目標	老人に対し医療費の一部を助成し、もって、老人の心身の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。		
備考			

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	80,223
市 債	
その他	250
一般財源	404,393
H23 予算額	484,866
前年度 予算額	473,140
増減額	11,726
特定財源の状況	
後期高齢者医療保険基盤 安定負担金 67,728千円	
重度心身障害者老人等医 療費助成事業補助金 12,495千円	
雑入 250千円	

事業名	ひとり暮らし高齢者安心安全推進事業 ・ 高齢者見守り隊事業
-----	--------------------------------------

所管課	長寿介護課 (健康福祉部)
-----	---------------

事業の目的	<p>ひとり暮らし高齢者の安心安全を図るために、地域包括支援センターに担当者1名を配置し、見守り体制を構築する。</p> <p>また、高齢者安心安全ネットワーク推進委員会に民間事業所の協力を得て、「高齢者見守り隊」を編成し、地域と一体となって新たな見守り体制を構築する。</p>
-------	---

一般会計予算		
区分	区分名	
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費

根拠条例等 総合計画	宇陀市高齢者安心安全ネットワーク推進委員会設置要綱 第2章 第6節 心豊かな地域福祉の充実 (3) 地域福祉推進体制の充実
---------------	--

事業の概要	<p style="text-align: center;">平成23年度予算積算概要</p> <p>13 委託料 61 ひとり暮らし高齢者安心安全推進事業委託料 3,334,000円(地域包括支援センターへ委託)</p> <p>パート賃金 2,511,000円×1名</p> <p>手当・社会保険料 612,050円</p> <p>事務消耗品費 210,000円</p> <p>8 報償費 1 報償金</p> <p>高齢者見守り隊 報償・講師謝礼 530,000円</p> <p>11 需要費 1 消耗品費</p> <p>高齢者見守り隊 腕章・協力事業所シール 412,500円</p> <p>事務費 70,000円</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	3,334
市 債	
その他	
一般財源	1,013
H23 予算額	4,347
前年度 予算額	3,334
増減額	1,013

事業の成果	<p>21年度 1,196名(一人暮らし世帯数)</p> <p>22年度 1,660名</p>
-------	---

特定財源の状況
ふるさと雇用再生特別 交付金 3,334千円

事業の目標	<p>ひとり暮らし等高齢者の孤立・孤独化を防ぎ、自立を促す。</p> <p>見守り・声かけ・身近な支えあいを通じて、「顔の見える関係づくり」目指し、地域のつながりの再構築を行う。</p> <p>高齢者を見守る共助の新たな仕組みづくりを行うことで、住み慣れた地域で、自分らしく安心・安全に暮らせる地域づくりを目指す。</p>
-------	---

備 考	
-----	--

事業名	児童養護施設支援事業		
所管課	福祉課 (健康福祉部)		一般会計予算
事業の目的	保護者が病気や虐待など特別な事情で児童を入所させて養護し、あわせて退所した者に対する相談や自立のための援助に努めている児童養護施設の運営を支援する。	区分	区分名
		款	2 民生費
		項	2 児童福祉費
		目	1 児童福祉総務費
細目	1 本庁児童福祉総務費		

根拠条例等	宇陀市児童養護施設支援事業補助金交付要綱(策定中)
総合計画	基本計画 第2章第6節 心豊かな地域福祉の充実

事業の概要	施設を適切に運営するため、新たに職員を雇用するために要する経費を補助する。	財源の内訳	
	賃金 $900円 \times 6時間 \times 2人 \times 20日 \times 12ヶ月 = 2,592,000円$ 社会保険料 $5,968円 \times 12ヶ月 = 143,232円$ 年金 $8,832円 \times 12ヶ月 \times 2人 = 211,968円$ 雇用保険 $1,026円 \times 12ヶ月 \times 2人 = 24,624円$ 通勤手当 $13,700円 \times 12ヶ月 \times 2人 = 328,800円$ 合計 $3,300,624円$ $3,300,000円$	分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	3,300
		一般財源	
		H23 予算額	3,300
		前年度 予算額	0
		増減額	3,300

事業の成果		特定財源の状況
事業の目標	施設の適切な運営のため、新たな職員を雇用し、施設に育つ子どもたちの健やかな成長を助ける児童養護施設を支援する。	地域づくり推進基金繰入金 (住民生活に光をそそぐ交付金積立) 3,300千円

備考	
----	--

事業名	大宇陀南部線運行事業	
所管課	企画課（総務部）	
事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上	
	区分	No.
	款	2
	項	1
	目	4
細目	23	大宇陀南部線運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳	
	運行委託料	4,000	分担金	
	燃料費	1,035	使用料	950
	消耗品	80	国費	
	タイヤ代	101	県費	
	車両修繕	50	市債	
	車検代	118	その他	420
	保険料・重量税	151	一般財源	4,165
	合計	5,535	H23 予算額	5,535
事業の成果	平成21年度において、延べ3,802人の利用(1日平均10.6人)		前年度 予算額	5,841
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図る。		増減額	▲ 306
備考			特定財源の状況	
			バス使用料	950千円
			地元協力金	420千円

事業名	榛原大野線運行事業	
所管課	企画課 (総務部)	
事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上	
	区分	No.
	款	2
	項	1
	目	4
細目	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳	
	運行委託料	3,400	分担金	
	燃料費	728	使用料	636
	消耗品	80	国費	
	タイヤ代	101	県費	
	車両修繕	50	市債	
	車検代 (バス・予備車両)	436	その他	
	保険料・重量税	205	一般財源	4,536
	駅構内使用料	172	H23 予算額	5,172
	合計	5,172	前年度 予算額	4,895
		増減額	277	

事業の成果	平成21年度において、延べ1,571人の利用(1日平均6.5人) 平成22年度より3往復より5往復と増便したことにより、利便性の向上	特定財源の状況	バス使用料 636千円
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図る。		
備考			

事業名	地域公共交通活性化再生協議会(デマンド型乗合タクシー運行事業)
-----	---------------------------------

所管課	企画課 (総務部)
-----	-----------

事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上
-------	-------------------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	室生区において、室生北部線、室生南部線、診療所バスを休廃止し、デマンド型乗合タクシーを運行する。
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	4,584
一般財源	4,635
H23 予算額	9,219
前年度 予算額	11,400
増減額	▲ 2,181

事業の成果	平成22年12月末までに延べ3,421人が利用(1日平均18.6人) 利用者の45%が70歳以上の高齢者 ドアツードアのデマンド型乗合タクシーにより、公共交通空白地域の解消
-------	--

特定財源の状況	
協議会清算金	4,584千円

事業の目標	公共交通空白地域の解消、高齢者等交通弱者の利便性の向上
-------	-----------------------------

備考	
----	--

事業名	奈良交通路線バス運行補助	
-----	--------------	--

所管課	企画課（総務部）	一般会計予算
-----	----------	--------

事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上	
	区分	No.
	款	2 総務費
	項	1 総務管理費
	目	4 企画費
細目	3 代替バス運行事業費	

根拠条例等	宇陀市生活路線バス運行対策費補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	社会情勢の変化により公共交通の利用者が減少し、バス路線の維持が困難となっていることから、赤字路線について民間バス事業者に運行経費の補助を行う。		財源の内訳	
	奥宇陀線上内牧系統	4,000千円	分担金	
	桜井菟田野線	419千円	使用料	
	(国県のバス運行対策補助金の条件を満たすための運賃収入引き上げ補助)		国費	
			県費	
			市債	
			その他	
			一般財源	4,419
			H23 予算額	4,419
			前年度 予算額	6,000
			増減額	▲ 1,581

事業の成果	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与	特定財源の状況
-------	--	---------

事業の目標	民間バス路線の維持確保
-------	-------------

備考	
----	--

事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業
-----	-----------------

所管課	企画課 (総務部)
-----	-----------

事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上	一般会計予算		
		区分	No.	区分名
		款	2	総務費
		項	1	総務管理費
		目	4	企画費
細目	3	代替バス運行事業費		

根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱
-------	--------------------------

総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実
------	-----------------------

事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張錦生地域が主体となり、ほっとバス錦運営協議会において、名張～室生龍口間を運行されるほっとバスに対し補助を行う。 名張市補助 3,000千円 宇陀市補助 500千円	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	500
		H23 予算額	500
		前年度 予算額	500
		増減額	0

事業の成果	平成22年10月末において、宇陀市内の利用が35%を占めている。 (チケット枚数)	特定財源の状況
-------	--	---------

事業の目標	バス路線の維持確保
-------	-----------

備考	
----	--

事業名	過疎地有償運送事業補助金(らくらくバス)	
-----	----------------------	--

所管課	菟田野地域事務所地域市民課 (部)	一般会計予算
-----	--------------------	--------

事業の目的	菟田野区内公共交通廃止路線を宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり、地域市民の生活路線として確保をするための補助。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	4	企画費
			細目	40	菟田野地域事務所企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳	
	分担金		使用料	
	過疎地有償運送事業補助	1,710	国 費	
	合 計	1,710	県 費	
			市 債	
			その他	
			一般財源	1,710
			H23 予算額	1,710
			前年度 予算額	1,560
			増減額	150

事業の成果	日3便の運行で一日平均乗客数3.3人、年間800人が利用し、主に高齢者世帯の買い物や病院への利用がほとんどで、市街地以外での地域では無くてはならない生活の重要な交通手段となっています。	特定財源の状況
-------	--	---------

事業の目標	高齢化世帯の増加に伴い、地域の生活路線の確保。
-------	-------------------------

備 考	
-----	--

事業名	宇陀市立病院建設事業
-----	------------

所管課	健康増進課 病院建設室（健康福祉部）
-----	--------------------

事業の目的	宇陀市立病院は、単なる老朽化による建て替えだけでなく、安心できる医療環境づくり、また将来にわたって安定した医療を提供するための効率的な運営並びに今後訪れる超高齢社会の医療需要に対応できる病院整備を行い、全ての市民が豊かに安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりを目指すものである。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	病院費
細目	3	病院建設費

根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例
総合計画	基本計画 第2章第2節 地域医療体制の充実

事業の概要	<p>全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 A=8,915.65㎡ ○建物概要 既存改修建物(北館) 延面積 A= 4,381.50㎡ 増築建物(新本館) 延面積 A=11,938.84㎡ <hr/> <p style="text-align: right;">合計 延面積 A=16,320.34㎡</p> <p>規模構造 鉄筋コンクリート造(PC造) 地上7階・地下1階</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病床数 一般病床 176床 ○診療科目 15診療科 ○医療機器整備 等 ○医療情報システム整備
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	174,300
その他	
一般財源	90
H23 予算額	174,390
前年度 予算額	376,250
増減額	▲ 201,860

事業の成果	全ての市民が、健康で安心して地域に住み続けられるまちづくりを行う。
-------	-----------------------------------

特定財源の状況
合併特例債 174,300千円

事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会の医療需要に対応できる機能的な病院整備を行う。 ・高度・専門医療等の充実を図るとともに、医療機関相互の連携強化により、地域医療ネットワーク体制の構築を推進する。 ・経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を目指す。 ・医療機器・設備の整備を図り、医療水準の維持・向上に努める。
-------	--

備考	
----	--

事業名	働く世代への大腸がん検診推進事業					
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		一般会計予算			
事業の目的	大腸がんは、年間の罹患者数10万人、死亡者数4万人とわが国に多いがんである。特に、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、自宅にいながら検査を受けられるように、検査キットを郵送により対象者に送付し、回収して検査を行うものであり、受診率の向上と大腸がんの早期発見・早期治療を図る。					
				区分	区分名	
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	4	健康づくり費
細目	1	本庁老人保健健康づくり費				

根拠条例等	国の平成23年度予算 がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「働く世代への大腸がん検診推進事業」	財源の内訳	
	計画年度 平成23年度 計画の概要 市内に在住する40歳から60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、自宅に検査キットを郵送し、採便した後、郵送で回収し、検査をする。 (働き盛りの方の、面倒・時間がない・受診場所まで遠いの解消) 事業費 3,004千円 (委託料 1,924千円) (事務費 1,080千円)	分担金	
事業の成果	働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの方を対象としており、受診率の低い大腸がん検診を、自宅にいながら検査を受けることができることにより、受診率の向上につなげ、早期発見に役立つ。	使用料	
		国費	1,501
事業の目標	大腸がんの治癒率は70%、早期であれば100%近く完治するといわれており、何よりも早期発見が第一である。検診に行く時間のない方も自宅でいながら検診を受けることができるので、受診率の向上に役立ち、早期発見をすることができる。	県費	
		市債	
備考		その他	
		一般財源	1,503
		H23 予算額	3,004
		前年度 予算額	0
		増減額	3,004
		特定財源の状況	
		働く世代への大腸がん検診推進事業補助金 1,501千円	

事業名	女性特有のがん検診推進事業			
所管課	健康増進課 (健康福祉部)			
事業の目的	がん検診の中でも受診率の低い女性特有のがん検診について、子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)で5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。			
			一般会計予算	
			区分	区分名
			款	4 衛生費
			項	1 保健衛生費
目	4 健康づくり費			
細目	1 本庁老人保健健康づくり費			

根拠条例等	国の平成23年度予算 がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「女性特有のがん検診推進事業」	財源の内訳	
	計画年度 平成23年度 計画の概要 受診率の低い女性特有のがん検診について、子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)で5歳刻みの方に、クーポン券等送付し、無料で検診を受けていただく。 事業費 4,773千円 (委託料 乳1,965千円 子宮1,814千円) (事務費 994千円)	分担金	
事業の成果	この事業については、受診率の低い女性のがん検診について、平成21年度の国の経済危機対策の一環として、新規事業として実施している。 受診率 子宮がん検診 平成20年度 15.5% 平成21年度 16.4% 乳がん健診 平成20年度 16.8% 平成21年度 20.1%	使用料	
		国費	2,386
事業の目標	女性特有のがん検診における受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、健康保持及び増進を図る。	県費	
		市債	
備考		その他	
		一般財源	2,387
		H23 予算額	4,773
		前年度 予算額	4,990
		増減額	217
		特定財源の状況	
		女性特有のがん検診推進 事業費補助金 2,386千円	

事業名	その他のがん検診の推進事業					
所管課	健康増進課 (健康福祉部)					
事業の目的	宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物(がん)・2位心疾患3位肺炎となっており、がんの早期発見のためにも検診は最も重要であり、市民にがん検診の機会を提供し、健康保持・増進に努める。					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費				
細目	1	本庁老人保健健康づくり費				

根拠条例等	がん対策基本法
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「その他のがん検診推進事業」		財源の内訳	
	・事業費 20,907千円		分担金	
	大腸がん検診	3,056千円	使用料	
	胃がん検診	6,064千円	国費	
	子宮がん検診	4,218千円	県費	
	乳がん検診	3,926千円	市債	
	肺がん検診	2,520千円	その他	3,181
	前立腺がん検診	1,123千円	一般財源	17,726
事業の成果	市民にがん検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、検診の機会を提供する。		H23 予算額	20,907
			前年度 予算額	24,443
			増減額	3,536
			特定財源の状況	
			雑入(自己負担) 3,181千円	
事業の目標	受診率向上のために受診勧奨に努め、がんの早期発見・早期治療を促し、市民の健康保持・安心のために、広く受診機会を提供する。			
備考				

事業名	妊婦健康診査事業						
所管課	健康増進課 (健康福祉部)						
事業の目的	妊婦の健康診査の一層の徹底を図るため、妊婦健康診査を実施し、妊婦と胎児の健康管理の向上を図る。			一般会計予算			
				区分	区分名		
				款	4	衛生費	
				項	1	保健衛生費	
				目	4	健康づくり費	
細目	2	本庁母子保健健康づくり費					

根拠条例等	母子保健法第13条
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	<p style="text-align: center;">「妊婦健診事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 20,125千円 <ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査 委託料 17,500千円(県内医療機関) 妊婦健康診査 補助金 2,625千円(県外医療機関) <p>母子手帳発行時に、妊婦健康診査補助券綴りを発行し、健診時に健診費用として医療機関へ支払う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査補助券綴り 基本券14枚・追加券20枚(1枚2,500円券) 	財源の内訳	
		分担金	
		国費	
		県費	6,900
		市債	
		その他	
		一般財源	13,225
		H23 予算額	20,125
		前年度 予算額	21,250
		増減額	1,125

事業の成果	妊婦が安心して健診を受けることができ、妊婦と胎児の健康管理の向上が図れる。	特定財源の状況	
事業の目標	近年急速に進む少子化を防ぐためにも、妊婦が安心して健診を受け、出産ができるように、健診費用を助成し、妊婦と胎児の健康管理に努める。	妊婦健康診査事業補助金 6,900千円	
備考			

事業名	みんなの体操会開催事業	
-----	-------------	--

所管課	生涯学習課（教育委員会事務局）	一般会計予算
-----	-----------------	--------

事業の目的	市政5周年記念事業として、NHKラジオ夏期巡回ラジオ体操を招き、ラジオ体操を通して体操やスポーツへの関心を高めるとともに、健康増進に努め自らの体力維持や向上への意欲を高める。		
	区分	No.	
	区分名		
	款	9	教育費
	項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費	
細目	1	本庁保健体育総務費	

根拠条例等	
-------	--

総合計画	基本計画 第4章第5節 スポーツ・レクリエーションの充実 市民全体のスポーツ・レクリエーション活動の支援
------	--

事業の概要	平成23年度積算概要		財源の内訳	
	参加記念品	240	分担金	
印刷費	147	使用料		
送迎バス委託料	647	国費		
その他	209	県費		
合計	1,243	市債		
		その他		
		一般財源	1,243	
		H23 予算額	1,243	
		前年度 予算額	0	
		増減額	1,243	

事業の成果		特定財源の状況

事業の目標	参加目標 1,000人 NHKラジオを通じて宇陀市を発信していく。
-------	--------------------------------------

備考	
----	--

事業名	宇陀シティマラソン実行委員会補助金					
所管課	生涯学習課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	宇陀の豊かな自然の中で、市民をはじめ参加する方々の健康の維持増進を目指し、お互いの交流と親睦を図るとともに、宇陀市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。					
				区分	区分名	
				款	9	教育費
				項	6	保健体育費
				目	1	保健体育総務費
細目	1	本庁保健体育総務費				

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章第5節 スポーツ・レクリエーションの充実 市民全体のスポーツ・レクリエーション活動の支援

事業の概要	平成23年度積算概要 宇陀シティマラソン補助金 1,600	財源の内訳																			
		<table border="1"> <tr><td style="background-color: yellow;">分担金</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">使用料</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">国 費</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">県 費</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">市 債</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">その他</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">一般財源</td><td>1,600</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">H23 予算額</td><td>1,600</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">前年度 予算額</td><td>1,600</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">増減額</td><td>0</td></tr> </table>	分担金		使用料		国 費		県 費		市 債		その他		一般財源	1,600	H23 予算額	1,600	前年度 予算額	1,600	増減額
分担金																					
使用料																					
国 費																					
県 費																					
市 債																					
その他																					
一般財源	1,600																				
H23 予算額	1,600																				
前年度 予算額	1,600																				
増減額	0																				
事業の成果	第3回宇陀シティマラソン(H21年度) 参加者 走者 約1,600人 ボランティアスタッフ 約350人 宇陀の特産品のPR・販売 宇陀市内観光施設のPR	特定財源の状況																			
事業の目標	「走ろう宇陀! ふれあう心」をスローガンにランナーやボランティアスタッフの参加者全てがマラソン大会を通じて交流し、親睦を図り宇陀市の一体感を醸成していくとともに、全国から集まる人たちに宇陀市をPRし発信していく。																				
備 考																					

事業名	学校安全安心メール配信システム構築事業
-----	---------------------

所管課	学校教育課（教育委員会事務局）
-----	-----------------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

事業の目的	<p>個人情報の観点から最近では電話による連絡網が作りにくい状況になっており、家の電話にかけても連絡が取れない場合もあります。</p> <p>今回、メール配信システムを導入することにより、携帯電話にメールで一斉に連絡ができるので、電話を掛ける手間が省け、素早く・確実に連絡を伝えることができます。</p>
-------	--

根拠条例等	
-------	--

総合計画	第4章 第3節 教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)
------	------------------------------------

事業の概要	平成23年度予算積算概要									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名等</th> <th colspan="2">積算内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>522,900</td> <td>41500円×1.05×12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>522,900</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目名等	積算内容		使用料及び賃借料	522,900	41500円×1.05×12ヶ月	合計	522,900	
	科目名等	積算内容								
使用料及び賃借料	522,900	41500円×1.05×12ヶ月								
合計	522,900									
<p>平成22年度奈良県市町村振興臨時交付金事業により整備</p> <p>各学校等より保護者に警報等により休校になった場合の緊急時の連絡や遠足や旅行時でイベント等の連絡を一斉連絡をメール配信により行う。尚、配信したメールが読まれたかどうかを確認する機能があり、配信したメールから確認ページへアクセスするだけなので利用者にも負担がかかりません。既読状況は管理画面内で一覧表示することができ、読んでいない方へメールを再送したり、電話連絡をするという対応がとれます。</p>										

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	402
一般財源	121
H23 予算額	523
前年度 予算額	403
増減額	120

事業の成果	<p>市内幼・保・小・中小学校のメール配信システム構築事業</p> <p>■幼 保 660人 ■小学校 1,571人 ■中学校 828人 ■合 計 3,059人(平成22年10月現在)</p>
-------	---

特定財源の状況
地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村臨時交付金積立て分) 402千円

事業の目標	<p>次のような事例に対し迅速かつ的確に対応する。</p> <p>①緊急時の連絡網 ②新型インフルエンザ対策 ③自然災害での休校・休園等の情報配信 ④修学旅行等の行事案内 ⑤不審者情報の配信</p>
-------	---

備考	主要施策
----	------

事業名	宇陀市防災・緊急情報等メール配信事業	
所管課	危機管理課（総務部）	
事業の目的	宇陀市民の安全・安心の確保	
	区分	No.
	款	8
	項	1
	目	4
細目	1	
根拠条例等		
総合計画		
事業の概要	<p>現在は、当該システムに登録していただいている携帯メールの所有者に火災の発生場所、時刻、また鎮火時刻等並びに気象警報発表時に警報内容などを配信・周知している。</p> <p>今後は、このメール配信システムを①現在の配信内容だけでなく、防災行政無線の補助的機能として気象警報や気象情報の積極配信を検討する。②登録のグループ分けを再検討し、消防団員への緊急連絡や職員の参集連絡等にも使用できないか検討を加える。など、市民の安心・安全の確保のため強化する。</p> <p>平成23年度予算額 390,600円</p>	
	事業の成果	<p>携帯電話普及並びに受信範囲の拡大に伴い、当該メールが短時間に同一情報を発信できることから、災害に関する情報を積極的にメール配信することにより、宇陀市防災行政無線の補完機能を持たせ、各種災害の減災につなげることが可能となる。</p>
事業の目標	市民の安心・安全の確保	
備考		
財源の内訳		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		
一般財源	391	
H23 予算額	391	
前年度 予算額	391	
増減額	0	
特定財源の状況		

事業名	宇陀市防災行政無線デジタル化詳細調査																							
所管課	危機管理課（総務部）																							
事業の目的	<p>現在、8波を使用している宇陀市の防災無線（同報系4波・移動系4波）を統一するにあたり、国が推進している電波のデジタル化を行なう。</p> <p>しかし、地形的にも面積的にも特徴のある本市で、もっとも有効な整備を行なうため、デジタル電波の伝播状況を含めた詳細調査を実施し、その結果を実施設計に反映させる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">一般会計予算</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>No.</th> <th>区分名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>款</td> <td>8</td> <td>消防費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>1</td> <td>消防費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>4</td> <td>災害対策費</td> </tr> <tr> <td>細目</td> <td>1</td> <td>災害対策費</td> </tr> </tbody> </table>	一般会計予算			区分	No.	区分名	款	8	消防費	項	1	消防費	目	4	災害対策費	細目	1	災害対策費				
一般会計予算																								
区分	No.	区分名																						
款	8	消防費																						
項	1	消防費																						
目	4	災害対策費																						
細目	1	災害対策費																						
根拠条例等																								
総合計画																								
事業の概要	<p>国が認める空中線電力によりデジタル波による伝播調査を実施する。</p> <p>同報系の整備について、もっとも有効な方式を決定する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>H23 予算額</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>前年度 予算額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>	財源の内訳		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	2,000	H23 予算額	2,000	前年度 予算額	0	増減額	2,000
財源の内訳																								
分担金																								
使用料																								
国費																								
県費																								
市債																								
その他																								
一般財源	2,000																							
H23 予算額	2,000																							
前年度 予算額	0																							
増減額	2,000																							
事業の成果	<p>現在は、合併前の旧町村単位で同報系・移動系の防災行政無線を運用しているため、市全体にわたる有効な無線統制ができない状況にある。</p> <p>防災行政無線を統一化することで、無線統制が可能となると共に、災害時における市域全体の状況把握のスピード化につながる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特定財源の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="height: 100px;"></td> </tr> </tbody> </table>	特定財源の状況																					
特定財源の状況																								
事業の目標	<p>年度内、遅くとも10月頃までには方針を決定し、平成23年度当初予算の要求に資するものとする。</p>																							
備考																								

事業名	自主防災組織の設立促進(結成補助金の交付)	
所管課	危機管理課(総務部)	
事業の目的	宇陀市民の安全・安心の確保	一般会計予算
		区分 No. 区分名
		款 8 消防費
		項 1 消防費
		目 4 災害対策費
細目 1 災害対策費		
根拠条例等		
総合計画		
事業の概要	<p>災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心にした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは、地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。</p> <p>このような状況に歯止めをかけ、地域の災害に対する知識と備えを向上させることにより、地域共助機能の回復・高揚と当該地域の減災を図ると共に、高齢者から子どもまでが協調して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とするため、自主防災組織の結成を促進し、自主防災組織の結成に対して補助金を交付する。</p> <p>将来は、当該自主防災組織の装備拡充や災害対策用品の備蓄に対して、一定の補助制度が必要になるのではないかと考える。</p> <p>平成23年度予算額 300,000円</p>	
	財源の内訳	
	分担金	
	使用料	
	国費	
	県費	
	市債	
	その他	
	一般財源	300
	H23 予算額	300
前年度 予算額	500	
増減額	▲ 200	
事業の成果	<p>地域の共助組織である自主防災組織の結成がすすみ、災害に対する知識と備えが向上すれば、当該地域の減災に資するのみならず、当該地域住民の協調や安心と安全も向上する。</p> <p>また、自主防災組織と市の災害対策本部の連絡手段を確保することにより、市域全体の被災状況の把握が容易になり、公助への取り組みのスピード化が図れる。</p>	
	特定財源の状況	
事業の目標	市民の安心・安全の確保	
備考		

事業名	防犯灯設置事業補助金	
-----	------------	--

所管課	総務課（総務部）
-----	----------

事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置事業に要する経費について補助するもの。
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	生活安全対策費
細目	1	本庁生活安全対策費

根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第3章第5節 安全・安心な暮らしの実現 防犯体制の強化

事業の概要	<p style="text-align: center;">防犯灯設置事業補助金の対象となる経費及び補助金額</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>補助対象経費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯灯の新設</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>既設電柱に照明器具の新設</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>照明器具の更新</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> </tbody> </table>	補助対象経費	補助金額	防犯灯の新設	10	既設電柱に照明器具の新設	6	照明器具の更新	3
補助対象経費	補助金額								
防犯灯の新設	10								
既設電柱に照明器具の新設	6								
照明器具の更新	3								

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	476
H23 予算額	476
前年度 予算額	505
増減額	▲ 29

事業の成果	<p style="text-align: center;">平成21年度実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>防犯灯の新設</td> <td style="text-align: right;">16基</td> </tr> <tr> <td>既設電柱に照明器具の新設</td> <td style="text-align: right;">27基</td> </tr> <tr> <td>照明器具の更新</td> <td style="text-align: right;">39基</td> </tr> </tbody> </table>	防犯灯の新設	16基	既設電柱に照明器具の新設	27基	照明器具の更新	39基
防犯灯の新設	16基						
既設電柱に照明器具の新設	27基						
照明器具の更新	39基						

特定財源の状況

事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。
-------	-------------------------------------

備考	
----	--

事業名	道路整備事業 街路灯カーブミラー等支柱修繕工事 (きめ細かな交付金事業)
-----	---

所管課	建設課 (建設部)
-----	-----------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	4	きめ細かな交付金事業

事業の目的	市道における道路照明灯やカーブミラーの支柱で劣化がひどい支柱の修繕整備を実施し、市民の安全の向上に努める。
-------	---

根拠条例等	道路法42条(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上

事業の概要	市道の安全確保のため、道路照明灯の支柱及びカーブミラーや道路案内標識柱の腐食修繕工事で、特に榛原区萩乃里、天満台、あかね台等の住宅地にある道路照明柱。
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	950
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	50
H23 予算額	1,000
前年度 予算額	
増減額	1,000

事業の成果	市道利用者の安全確保。
-------	-------------

特定財源の状況
きめ細かな交付金事業 950千円

事業の目標	市道利用者の安全性、利便性の確保。
-------	-------------------

備 考	
-----	--

事業名	交通安全施設整備事業	
-----	------------	--

所管課	建設課（建設部）	一般会計予算
-----	----------	--------

事業の目的	市道における道路防護柵、カーブミラーや道路区画線の維持補修を実施し、道路利用者の安全確保を行う。	
	区分	No.
	区分名	
	款	7 土木費
	項	2 道路橋梁費
目	2 道路維持費	
細目	3 交通安全施設整備	

根拠条例等	道路法42条(道路の維持又は修繕)
-------	-------------------

総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上
------	--------------------------------------

事業の概要	市道の安全確保のため、カーブミラーの新設、修繕や道路防護柵(ガード レール)の新設、補修を行う。 また、道路面に於けるセンターライン等の区画線の塗り直しを行う。	財源の内訳																									
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>需用費(修繕料)</td> <td style="text-align: right;">800</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td style="text-align: right;">5,200</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">6,000</td> </tr> </table>	需用費(修繕料)	800	工事費	5,200	合計	6,000	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国 費</td><td></td></tr> <tr><td>県 費</td><td></td></tr> <tr><td>市 債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="text-align: right;">6,000</td></tr> <tr><td>H23 予算額</td><td style="text-align: right;">6,000</td></tr> <tr><td>前年度 予算額</td><td style="text-align: right;">6,300</td></tr> <tr><td>増減額</td><td style="text-align: right;">▲ 300</td></tr> </table>	分担金		使用料		国 費		県 費		市 債		その他		一般財源	6,000	H23 予算額	6,000	前年度 予算額	6,300	増減額
需用費(修繕料)	800																										
工事費	5,200																										
合計	6,000																										
分担金																											
使用料																											
国 費																											
県 費																											
市 債																											
その他																											
一般財源	6,000																										
H23 予算額	6,000																										
前年度 予算額	6,300																										
増減額	▲ 300																										

事業の成果・効果	市道利用者の安全確保。	特定財源の状況

事業の目標	市道利用者の安全性、利便性の確保。
-------	-------------------

備考	
----	--

事業名	DV相談事業					
所管課	人権推進課（市民環境部）					
事業の目的	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき、女性専門相談員による相談回数を充実し、年々増加傾向にあるDV被害者の心のケアを図るとともに、関係機関とも連携しながら適切な対応に努める。					
				一般会計予算		
				区分	No.	区分名
				款	3	民生費
				項	1	社会福祉費
目	7	人権行政推進費				
細目	1	人権行政推進費				

根拠条例等	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」「宇陀市男女共同参画計画」
総合計画	

事業の概要	地域活性化交付金(住民に光をそそぐ交付金)事業(2カ年事業)	財源の内訳	
	DV相談業務 (平成23・24年度) 業務委託料 180(年間12回開催) 消耗品 5 計 185	分担金	
事業の成果	平成22年度の実施回数年間6回(2ヶ月に1回)を毎月実施し相談者のニーズに応える。	使用料	
		国費	
事業の目標	年々増加するDV相談被害者の心のケアを図り、関係機関とも連携した相談業務を行い、今後、DV防止計画の策定に努める予定。	県費	
		市債	
備考		その他	185
		一般財源	
		H23 予算額	185
		前年度 予算額	90
		増減額	95
		特定財源の状況	
		地域づくり推進基金繰入金(住民生活に光をそそぐ交付金積立て分) 185千円	

事業名	小中学生基礎学力向上事業（市単独事業）
-----	---------------------

所管課	教育総務課（教育委員会事務局）
-----	-----------------

事業の目的	市内小中学生の学力向上を図ること。
-------	-------------------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等 総合計画	基本計画 第4章第3節 (1)健やかに育つための教育内容の充実
---------------	---------------------------------

事業の概要	<p>市内小中学生の学力向上のため、教育課程、学習指導、その他学校教育の専門的事項に関する事務に従事する指導主事を宇陀市独自で配置する。</p> <p>①学力向上のための専門的指導 ②生徒指導上の課題への対応 ③各種教育相談（不登校、就学指導等）</p> <p>* 宇陀市の現状を分析し、見出した問題点についての解決を図っていく。</p> <p>* 手法として、各校の代表によるワーキングチームを立ち上げ、研究協議を行う。</p> <p>（予定：平成23年度～平成25年度）</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	1,972
H23 予算額	1,972
前年度 予算額	0
増減額	1,972

事業の成果	
-------	--

特定財源の状況

事業の目標	平成23年度からの3年間の事業とし、成果を検証する。
-------	----------------------------

備 考	
-----	--

事業名	小学校外国語活動指導助手設置事業（市単独事業）
-----	-------------------------

所管課	教育総務課（教育委員会事務局）
-----	-----------------

事業の目的	平成23年度から実施される「新学習指導要領」に基づき、小学校5～6年生の授業に外国語活動が取り入れられる。授業にネイティブスピーカーを助手として採用することで、外国語の授業が充実するとともに、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出することができる。
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校教育振興費

根拠条例等 総合計画	基本計画 第4章第3節 (1)健やかに育つための教育内容の充実
---------------	---------------------------------

事業の概要	平成23年度から実施される「新学習指導要領」では、年間35時間の外国語活動が導入されます。 市単事業として、外国語活動をスムーズに導入できる助手を宇陀市独自で設置します。
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	2,065
H23 予算額	2,065
前年度 予算額	0
増減額	2,065

事業の成果	
-------	--

特定財源の状況

事業の目標	
-------	--

備 考	
-----	--

事業名	適応指導教室(はばたき)
-----	--------------

所管課	学校教育課 (教育委員会事務局)
-----	------------------

事業の目的	宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター費

根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領
-------	---------------

総合計画	基本計画 第4章 第3節 『教育環境の整備・充実』
------	---------------------------

事業の概要	研修				
	報償費	講師謝礼	120	講師(大学教授等)	30,000円×4人
	はばたき				
	報償費	講師謝礼	879	臨床心理士 相談員	15,000円×42回 3,000円×83回
事業の概要	研修				
	負担金補助及び交付金	職員研修負担金	3	講師旅費負担	
	負担金補助及び交付金	市指定研究校補助金	75	2校1園	25,000円×3

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	879
一般財源	198
H23 予算額	1,077
前年度 予算額	850
増減額	227

事業の成果	不登校生徒が学校への復帰(1人)を果たせた。
-------	------------------------

特定財源の状況
地域づくり推進基金繰入金 (住民生活に光をそそぐ 交付金積立て分) 879千円

事業の目標	適応指導教室に来室することで、学習機会を確保することや、不登校の状態にある児童・生徒の学校への復帰を促す。また、平成23年度以降は、これまでの相談員を変更し、臨床心理士の有資格者を配置し、さらに当初の目的遂行に取り組みたい。
-------	--

備考	
----	--

事業名	教育相談(心理)
-----	----------

所管課	学校教育課課 (教育委員会事務局)
-----	-------------------

事業の目的	臨床心理士による教育相談業務。主としては発達相談で、心理学的な見地から、保護者や教職員にアドバイスをしたり、ニーズに応じて心理検査を行う。	一般会計予算		
		区分	No.	区分名
		款	9	教育費
		項	1	教育総務費
		目	2	事務局費
細目	5	教育センター費		

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
-------	-----------------

総合計画	基本計画 第4章 第3節 『教育環境の整備・充実』
------	---------------------------

事業の概要	○その他				財源の内訳	
	報償費	相談員謝礼	1,200	臨床心理士	15,000円×4回×12ヶ月	5,000円×4回×2人×12ヶ月
					分担金	
					使用料	
					国 費	
					県 費	
					市 債	
					その他	1,200
					一般財源	
					H23 予算額	1,200
					前年度 予算額	638
					増減額	562

事業の成果	平成22年度相談件数等(7月～1月) 人数32人 回数55回 相談日数16日	特定財源の状況
		地域づくり推進基金繰入金 (住民生活に光をそそぐ交付金積立て分) 1,200千円

事業の目標	相談内容に応じた支援の実施。他機関との連携や、学校・園での体制づくりを可能とする。また、この教育相談では、発達に問題を抱える児童・生徒やその保護者、問題行動を引き起こす児童・生徒に手厚く細やかに対応することが可能。さらには、臨床心理士を目指す大学院生や卒業生と協力しつつ進めていくので、まさに「知」の拠点となりえるものである。
-------	---

備 考	
-----	--

事業名	教育センター事業(通級指導教室ほほえみ事業)				
所管課	学校教育課(教育委員会事務局)				
事業の目的	市の教育の諸課題に即応した教育の円滑な運営を図るため				
			一般会計予算		
			区分	No.	区分名
			款	9	教育費
			項	1	教育総務費
目	2	事務局費			
細目	5	教育センター事業費			

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱(H23.3改正予定)
総合計画	基本計画 第4章 第3節 『教育環境の整備・充実』

事業の概要	通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、担任以外の教育専門員によりそれぞれの子どもの実態に応じて指導を行う。宇陀市内の代表校に相談教室を置き、児童生徒が相談教室に個々に応じて通級する。専門員が各学校と連携を密にし、指導を進める。通級については、保護者の付き添いを原則とし、親の相談業務も行う。															
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>臨時職員賃金</td> <td style="text-align: right;">3,763</td> <td>2450×8時間×4日×4週×12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>消耗品(教室消耗品)</td> <td style="text-align: right;">348</td> <td></td> </tr> <tr> <td>郵送料</td> <td style="text-align: right;">12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">300</td> <td>心理検査器具(ウイスクⅢ・Ⅳ) 書類キャビネット</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">4,423</td> <td></td> </tr> </table>		臨時職員賃金	3,763	2450×8時間×4日×4週×12ヶ月	消耗品(教室消耗品)	348		郵送料	12		備品購入費	300	心理検査器具(ウイスクⅢ・Ⅳ) 書類キャビネット	計	4,423
臨時職員賃金	3,763	2450×8時間×4日×4週×12ヶ月														
消耗品(教室消耗品)	348															
郵送料	12															
備品購入費	300	心理検査器具(ウイスクⅢ・Ⅳ) 書類キャビネット														
計	4,423															
財源の内訳																
分担金																
使用料																
国費																
県費																
市債																
その他	4,423															
一般財源																
H23 予算額	4,423															
前年度 予算額	0															
増減額	4,423															

事業の成果	2002年の全国調査では、知的発達に遅れはないものの、学習面や行動面で著しい困難を持っていると担任教師が回答した児童生徒の割合は、6.3%であった。宇陀市において、平成22年度秋に実施した通常の学級内で特別支援を要すると判断される児童生徒は、79名であった。専門的な指導方法を必要とするこの児童生徒に対する指導に、各学校では大変苦慮されている。通級指導教室を実施することにより、困っている学校及び知的遅れがないとのことで、対応が十分でききれていない子ども達への教育効果を保証していくことにつながる。
事業の目標	3年後に県に指定される通級指導教室を目指す。
備考	

特定財源の状況
地域づくり推進基金繰入金(住民生活に光をそそぐ交付金積立て) 4,423千円

事業名	子ども支援活動事業
-----	-----------

所管課	生涯学習課 (教育委員会事務局)
-----	------------------

事業の目的	学校の教育活動や子ども達の登下校時の安全確保等の支援を行うため、地域のボランティアやコーディネーターの活動を支援。地域住民が学校を支援する活動を通じ、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することで、教育活動の充実や教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。
-------	---

一般会計予算		
区分	区分名	
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
細目	1	本庁社会教育総務費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章第4節 生涯学習の充実 地域教育力の醸成

事業の概要	<p style="text-align: center;">平成23年度積算概要</p> <p>活動補助金 1,240千円</p>
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	826
市債	
その他	
一般財源	414
H23 予算額	1,240
前年度 予算額	0
増減額	1,240

事業の成果	
-------	--

特定財源の状況
学校支援地域本部事業補助金 826千円

事業の目標	学校支援ボランティアの輪を広げ、より多くのボランティアを登録し、学校のニーズに応えられるよう体制を整備する。
-------	--

備考	
----	--

事業名	「夢先生」事業			
所管課	学校教育課（教育委員会事務局）		一般会計予算	
事業の目的	夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを児童に伝えるため、財団法人日本サッカー協会(JFA)の協力により、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内全小学校の5年生を対象に開催。	区分	No.	区分名
		款	9	教育費
		項	1	教育総務費
		目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費		

根拠条例等	
総合計画	第4章 第3節 教育環境の整備・充実(特色のある学校教育の推進)

事業の概要	<p style="text-align: center;">平成22年度補正予算積算概要</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>科目名等</th> <th colspan="2">積算内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">報償費</td> <td>315,000</td> <td>夢先生日当 @31,500円×10クール</td> </tr> <tr> <td>210,000</td> <td>アシスタント日当 @21,000円×10クール</td> </tr> <tr> <td>180,000</td> <td>宿泊費 @10,000円×6日×3人</td> </tr> <tr> <td>497,160</td> <td>交通費 @13,810円×2回×6日×3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,202,160</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成22年度実績 11月15日～11月26日市内小学校5年生を対象に実施 岩本 勉(元プロ野球選手) 秋葉忠広 前田治(元プロサッカー選手) 富平辰文(K1選手) 青木愛(元シンクロナイズドスイミング選手)</p> <p>※日本サッカー協会が2007年4月に始めた「JFAこころのプロジェクト」において、小学校に派遣されるサッカーの元日本代表選手や現役選手、なでしこリーグの選手などの愛称。日本サッカー協会ではこのプロジェクトで、サッカーを通じて子供の心の成長を助けようと企図している。</p>	科目名等	積算内容		報償費	315,000	夢先生日当 @31,500円×10クール	210,000	アシスタント日当 @21,000円×10クール	180,000	宿泊費 @10,000円×6日×3人	497,160	交通費 @13,810円×2回×6日×3人	合計	1,202,160		<p style="text-align: center;">財源の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国 費</td><td style="text-align: right;">1,082</td></tr> <tr><td>県 費</td><td></td></tr> <tr><td>市 債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="text-align: right;">121</td></tr> <tr><td>H22 4号補正</td><td style="text-align: right;">1,203</td></tr> <tr><td>H22 現計予算</td><td style="text-align: right;">829</td></tr> <tr><td>増減額</td><td style="text-align: right;">374</td></tr> </table>	分担金		使用料		国 費	1,082	県 費		市 債		その他		一般財源	121	H22 4号補正	1,203	H22 現計予算	829	増減額	374
	科目名等	積算内容																																			
報償費	315,000	夢先生日当 @31,500円×10クール																																			
	210,000	アシスタント日当 @21,000円×10クール																																			
	180,000	宿泊費 @10,000円×6日×3人																																			
	497,160	交通費 @13,810円×2回×6日×3人																																			
合計	1,202,160																																				
分担金																																					
使用料																																					
国 費	1,082																																				
県 費																																					
市 債																																					
その他																																					
一般財源	121																																				
H22 4号補正	1,203																																				
H22 現計予算	829																																				
増減額	374																																				
事業の成果	<p>不登校等の様々な問題をかかえる中で、子ども達のこころの教育は重要なものとし、市は総合計画の中で掲げる施策として平成22年度事業として取組みました。実施後のアンケートでは、子ども達のこころの生育に大変優れた事業であると評価を得ました。又、各学校長より次年度以降の継続実施の要望もいただいております。</p>	<p style="text-align: center;">特定財源の状況</p> <p style="text-align: center;">地域活性化交付金 (きめ細かな交付金)</p>																																			
事業の目標	<p>この事業を継続的に実施することによって、子ども達に夢を持つことの大切さや、目標に向かって努力することの大切さを教え、健全な児童の育成を図ります。</p>																																				
備考																																					

事業名	室生西小学校芝生化事業	
所管課	学校教育課（教育委員会事務局）	
事業の目的	子ども達が自ら芝生管理の手伝いに参加することで植物が育つ過程を実感することができ、生育に対する関心を起こすとともに芝生の校庭を大切に作る気持ちも育むことができる。 又、PTAや地域ボランティア等の地域コミュニティに寄与することを目的とする。	一般会計予算
		区分 No. 区分名
		款 9 教育費
		項 2 小学校費
		目 1 学校管理費
		細目 1 本庁小学校管理費

根拠条例等	
総合計画	第4章 第3節 教育環境の整備・充実(環境問題についての認識と理解を深める)

事業の概要	<p style="text-align: center;">平成23年度予算積算概要</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">科目名等</th> <th colspan="2">積算内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>技術指導員報酬</td> <td>240,000</td> <td>(@10000円×4人×6回)</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>費用弁償</td> <td>10,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>30,000</td> <td>事務費</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>30,000</td> <td>芝刈り機燃料代</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>郵送料</td> <td>10,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> <td>2,000,000</td> <td>スプリンクラー等設置工事</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原材料費</td> <td></td> <td>500,000</td> <td>当初施行分 芝苗等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>300,000</td> <td>維持管理分 冬芝・肥料代</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> <td>1,000,000</td> <td>芝刈り機等備品購入</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>4,120,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>独立行政法人日本スポーツ振興センター「TOTO」助成金</p> <p>実施場所 室生西小学校グラウンド A=3,525㎡</p> <p>事業工程 5月 スプリンクラー等整備工事 6月 ポット苗植え付け(児童・PTA) ~維持管理~ 10月 冬芝苗播種 ~維持管理~</p>	科目名等		積算内容		報償費	技術指導員報酬	240,000	(@10000円×4人×6回)	旅費	費用弁償	10,000		需用費	消耗品費	30,000	事務費	光熱水費	30,000	芝刈り機燃料代	役務費	郵送料	10,000		工事請負費		2,000,000	スプリンクラー等設置工事	原材料費		500,000	当初施行分 芝苗等		300,000	維持管理分 冬芝・肥料代	備品購入費		1,000,000	芝刈り機等備品購入	合計		4,120,000		財源の内訳
科目名等		積算内容																																										
報償費	技術指導員報酬	240,000	(@10000円×4人×6回)																																									
旅費	費用弁償	10,000																																										
需用費	消耗品費	30,000	事務費																																									
	光熱水費	30,000	芝刈り機燃料代																																									
役務費	郵送料	10,000																																										
工事請負費		2,000,000	スプリンクラー等設置工事																																									
原材料費		500,000	当初施行分 芝苗等																																									
		300,000	維持管理分 冬芝・肥料代																																									
備品購入費		1,000,000	芝刈り機等備品購入																																									
合計		4,120,000																																										
事業の成果	ポット苗方式により小学校の運動場において低コスト芝生化を推進し、効果について検証するとともに、芝生を活用した日常活動の紹介やイベント等の開催により、子どもの体力の向上及び人間性豊かな人格形成を育む。	分担金																																										
事業の目標	子どもの体力の向上及び人間性豊かな人格形成を育むことを目標とするとともに、地域住民等が地域コミュニティの場として活用することにより、地域ネットワークづくりを目指します	使用料																																										
備考	主要施策	国 費																																										
		県 費 1,040																																										
		市 債																																										
		その他 3,080																																										
		一般財源																																										
		H23 予算額 4,120																																										
		前年度 予算額 0																																										
		増減額 4,120																																										
		特定財源の状況																																										
		天然芝生化新設事業 県費(1/5) 運動場芝生化推進事業補助金 その他(4/5)toto助成金 スポーツ振興くじ助成金																																										
		天然芝維持活動事業 県費(1/3) 運動場芝生化推進事業補助金 その他(2/3)toto助成金 スポーツ振興くじ助成金																																										

事業名	大宇陀小学校建設事業					
所管課	学校教育課（教育委員会事務局）					
事業の目的	平成22年4月にまず、大宇陀・守道・田原小学校で再編を行い、3校の児童は大宇陀小学校校舎で学習し、残る野依小学校についても児童数が減少傾向にあることから、大宇陀区内の小学校を1校に再編することとなりました。 大宇陀小学校の現校舎は古いもので、築50年を経過しており、耐震診断の結果国の示す基準を下回り、耐震補強の必要性がでてきました。また、4校統合により教室が不足することからも新しい校舎を建設し、教育環境の整備を図るものです。					
				一般会計予算		
				区分	No.	区分名
				款	9	教育費
				項	2	小学校費
目	3	学校建設費				
細目	1	大宇陀小学校建設費				

根拠条例等	小学校設置条例
総合計画	第4章 第3節 教育環境の整備・充実(学校統廃合)

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳																																																				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">科目名等</th> <th colspan="2">積算内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">需用費</td> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">300,000</td> <td>事務費</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> <td>事務費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託料</td> <td style="text-align: right;">15,112,000</td> <td>管理業務委託料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">828,000</td> <td>工事用地借地料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工事請負費</td> <td style="text-align: right;">648,708,000</td> <td>債務負担行為限度額 995,730千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">備品購入費</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> <td>工事備品</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td style="text-align: right;">665,148,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(人件費支弁 18,368,000円)</p>		科目名等		積算内容		需用費	消耗品費	300,000	事務費	印刷製本費	100,000	事務費	委託料		15,112,000	管理業務委託料	使用料及び賃借料		828,000	工事用地借地料	工事請負費		648,708,000	債務負担行為限度額 995,730千円	備品購入費		100,000	工事備品	合計		665,148,000		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">国費</td> <td style="text-align: right;">139,600</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">市債</td> <td style="text-align: right;">507,800</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">一般財源</td> <td style="text-align: right;">36,116</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">H23 予算額</td> <td style="text-align: right;">683,516</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">前年度 予算額</td> <td style="text-align: right;">64,500</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">増減額</td> <td style="text-align: right;">619,016</td> </tr> </table>		分担金		使用料		国費	139,600	県費		市債	507,800	その他		一般財源	36,116	H23 予算額	683,516	前年度 予算額	64,500	増減額	619,016
	科目名等		積算内容																																																				
	需用費	消耗品費	300,000	事務費																																																			
		印刷製本費	100,000	事務費																																																			
委託料		15,112,000	管理業務委託料																																																				
使用料及び賃借料		828,000	工事用地借地料																																																				
工事請負費		648,708,000	債務負担行為限度額 995,730千円																																																				
備品購入費		100,000	工事備品																																																				
合計		665,148,000																																																					
分担金																																																							
使用料																																																							
国費	139,600																																																						
県費																																																							
市債	507,800																																																						
その他																																																							
一般財源	36,116																																																						
H23 予算額	683,516																																																						
前年度 予算額	64,500																																																						
増減額	619,016																																																						
事業の成果	新たに建設する校舎と体育館は、隣接する旧南給食センターと保育所を取り壊し、その用地に建設し、現在の校舎、体育館、運動場を使用しながら建設する計画としている。ランチルームは既存のものを利用する計画としている。		特定財源の状況 国費 公立学校施設費国庫負担金 市債 合併特例債																																																				
事業の目標	普通教室については、将来的な児童数を推計するとともに、1教室35人学級を前提に各学年 2クラス12教室と、特別支援教室4教室の合計16教室で整備する。																																																						
備考	主要施策																																																						

事業名	小学校耐震二次診断事業	
-----	-------------	--

所管課	学校教育課（教育委員会事務局）
-----	-----------------

事業の目的	<p>国において、児童生徒の生命を守る点からも『耐震性能のない学校のすべての耐震化』を目指しております。その中でも特に『Is値0.3未満の学校施設の耐震化』は、一刻の猶予も許せない喫緊の課題となっています。</p> <p>しかしながら、2次診断を実施しない限りIs値が0.3未満であるか否かが判明しないことから、早期診断を実施し結果、耐震補強工事により児童・生徒の早期安全性の確保につとめます。</p> <p>尚、平成22年10月現在の宇陀市の小中学校の耐震化率は61.5%で、平成27年までに90%以上を目指します。</p>
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁小学校管理費

根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目
総合計画	第4章 第3節 教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)

事業の概要	平成22年度補正予算積算概要			
	科目名等		積算内容	
	役員費	判定手数料	300,000	榛原小学校屋内運動場
			300,000	室生西小学校屋内運動場
	委託料	耐震診断業務	3,500,000	榛原小学校屋内運動場
			3,000,000	室生西小学校屋内運動場
	合計	7,100,000		

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	6,390
県費	
市債	
その他	
一般財源	710
H22 4号補正	7,100
H22 現計予算	0
増減額	7,100

事業の成果	<p>今回の事業において、残された施設を耐震診断を実施することになり市内小中学校の主要施設の2次診断が完了することになります。</p> <p>今後、この結果を基に、適正な耐震計画を策定し、早期耐震化を目指します。</p>
-------	--

特定財源の状況
地域活性化交付金 (きめ細かな交付金)

事業の目標	平成22年10月現在の宇陀市の小中学校の耐震化率は61.5%で、平成27年までに90%以上を目指します。
-------	--

備考	
----	--

事業名	中学校耐震二次診断事業
-----	-------------

所管課	学校教育課 (教育委員会事務局)
-----	------------------

事業の目的	<p>国において、児童生徒の生命を守る点からも『耐震のない学校のすべての耐震化』を目指しております。中でも特に『Is値0.3未満の学校施設の耐震化』は、一刻の猶予も許せない喫緊の課題となっています。</p> <p>しかしながら、2次診断を実施しない限りIs値が0.3未満であるか否か判明しないことから、早期診断を実施し結果、耐震補強工事により児童・生徒の早期安全性の確保につとめます。</p> <p>尚、平成22年10月現在の宇陀市の小中学校の耐震化率は61.5%で、平成27年までに90%以上を目指します。</p>
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁中学校管理費

根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目
-------	---------------------------------------

総合計画	第4章 第3節 教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)
------	------------------------------------

事業の概要	平成22年度補正予算積算概要			
	科目名等		積算内容	
	役員費	判定手数料	950,000	大宇陀中学校校舎
			300,000	椋原中学校校舎
			300,000	室生中学校屋内運動場
	委託料	耐震診断業務	15,500,000	大宇陀中学校校舎
			4,300,000	椋原中学校校舎
			3,000,000	室生中学校屋内運動場
	合計		24,350,000	

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	21,915
県費	
市債	
その他	
一般財源	2,435
H22 4号補正	24,350
H22 現計予算	0
増減額	24,350

事業の成果	<p>今回の事業において、残された施設を耐震診断を実施することになり市内小中学校の主要施設の2次診断が完了することになります。</p> <p>今後、この結果を基に、適正な耐震計画を策定し、早期耐震化を目指します。</p>
-------	--

特定財源の状況
地域活性化交付金 (きめ細かな交付金)

事業の目標	平成22年10月現在の宇陀市の小中学校の耐震化率は61.5%で、平成27年までに90%以上を目指します。
-------	--

備考	
----	--

事業名	学校図書システム整備事業																			
所管課	学校教育課（教育委員会事務局）																			
事業の目的	学校間での図書資源を共有するシステムの構築することにより、子どもたちに本に触れる機会を増やし、読書による心の成長や学力向上を図る。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="3">一般会計予算</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>No.</th> <th>区分名</th> </tr> <tr> <td>款</td> <td>9</td> <td>教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>1</td> <td>教育総務費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>2</td> <td>事務局費</td> </tr> <tr> <td>細目</td> <td>1</td> <td>本庁事務局費</td> </tr> </table>	一般会計予算			区分	No.	区分名	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	細目	1	本庁事務局費
一般会計予算																				
区分	No.	区分名																		
款	9	教育費																		
項	1	教育総務費																		
目	2	事務局費																		
細目	1	本庁事務局費																		

根拠条例等	
総合計画	第4章 第3節 教育環境の整備・充実(学力の向上と安全で安心して学べる環境整備)

事業の概要	平成22年度補正予算積算概要	財源の内訳																																									
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>科目名等</th> <th colspan="2">積算内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">委託料 (システム導入業務委託料)</td> <td style="text-align: right;">1,920,000</td> <td>システムライセンス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">2,000,000</td> <td>サーバ設置費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">1,300,000</td> <td>現場作業関係費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">2,400,000</td> <td>周辺機器設置費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">480,000</td> <td>システム保守料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">405,000</td> <td>消費税</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">8,605,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目名等	積算内容		委託料 (システム導入業務委託料)	1,920,000	システムライセンス	2,000,000	サーバ設置費用	1,300,000	現場作業関係費	2,400,000	周辺機器設置費	480,000	システム保守料	405,000	消費税	その他	100,000		合計	8,605,000		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td style="text-align: right;">8,505</td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">100</td> </tr> <tr> <td>H22 4号補正</td> <td style="text-align: right;">8,605</td> </tr> <tr> <td>H22 現計予算</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td style="text-align: right;">8,605</td> </tr> </table>	分担金		使用料		国費	8,505	県費		市債		その他		一般財源	100	H22 4号補正	8,605	H22 現計予算	0	増減額
科目名等	積算内容																																										
委託料 (システム導入業務委託料)	1,920,000	システムライセンス																																									
	2,000,000	サーバ設置費用																																									
	1,300,000	現場作業関係費																																									
	2,400,000	周辺機器設置費																																									
	480,000	システム保守料																																									
	405,000	消費税																																									
その他	100,000																																										
合計	8,605,000																																										
分担金																																											
使用料																																											
国費	8,505																																										
県費																																											
市債																																											
その他																																											
一般財源	100																																										
H22 4号補正	8,605																																										
H22 現計予算	0																																										
増減額	8,605																																										
事業の成果	学校間で図書資源を共有するシステムを構築することで、各学校図書室の資源を補完できる。また、蔵書の管理等本格的な図書活用が可能となる。	特定財源の状況 地域活性化交付金 (住民に光を注ぐ交付金)																																									
事業の目標	学校間で図書資源を共有するシステムを構築し、年度内において蔵書を登録する。																																										
備考																																											

事業名	学校図書充実事業
-----	----------

所管課	学校教育課課 (教育委員会事務局)
-----	-------------------

事業の目的	学校図書の充実
-------	---------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校振興費

根拠条例等	学校図書館法
-------	--------

総合計画	基本計画 第4章 第3節『教育環境の整備・充実』
------	--------------------------

事業の概要	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 15%;">備品購入費</td> <td style="width: 15%;">図書購入費</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">1,800</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">*当初予算において図書購入費は別に700千円を計上済み</p>	備品購入費	図書購入費	1,800
備品購入費	図書購入費	1,800		

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	1,750
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	50
H22 4号補正	1,800
H22 現計予算	0
増減額	1,800

事業の成果	
-------	--

特定財源の状況
地域活性化交付金 (住民に光を注ぐ交付金)

事業の目標	読書は、国語力を形成している「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表す力」、「国語の知識等」のいずれにもかかわり、これらの力を育てる上で中核となるものである。さらには、すべての活動の基盤である「教養・価値観・感性」などを身につける。
-------	--

備 考	
-----	--

事業名	学校図書充実事業	
所管課	学校教育課課 (教育委員会事務局)	
事業の目的	学校図書の充実	一般会計予算
		区分 No. 区分名
		款 9 教育費
		項 3 中学校費
目 2 教育振興費		
細目 1 本庁中学校振興費		
根拠条例等	学校図書館法	
総合計画	基本計画 第4章 第3節 『教育環境の整備・充実』	

事業の概要	<table border="1"> <tr> <td>備品購入費</td> <td>図書購入費</td> <td>1,700</td> </tr> </table>	備品購入費	図書購入費	1,700	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国 費</td> <td>1,650</td> </tr> <tr> <td>県 費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市 債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>H22 4号補正</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>H22 現計予算</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>800</td> </tr> </table>	財源の内訳		分担金		使用料		国 費	1,650	県 費		市 債		その他		一般財源	50	H22 4号補正	1,700	H22 現計予算	900	増減額	800
	備品購入費	図書購入費	1,700																								
財源の内訳																											
分担金																											
使用料																											
国 費	1,650																										
県 費																											
市 債																											
その他																											
一般財源	50																										
H22 4号補正	1,700																										
H22 現計予算	900																										
増減額	800																										
事業の成果		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">特定財源の状況</th> </tr> <tr> <td colspan="2">地域活性化交付金 (住民に光を注ぐ交付金)</td> </tr> </table>	特定財源の状況		地域活性化交付金 (住民に光を注ぐ交付金)																						
特定財源の状況																											
地域活性化交付金 (住民に光を注ぐ交付金)																											
事業の目標	読書は、国語力を形成している「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表す力」、「国語の知識等」のいずれにもかかわり、これらの力を育てる上で中核となるものである。さらには、すべての活動の基盤である「教養・価値観・感性」などを身につける。																										
備 考																											

事業名	幼稚園図書充実事業
-----	-----------

所管課	学校教育課課 (教育委員会事務局)
-----	-------------------

事業の目的	幼児教育の重要性に鑑み、早期から図書や文字に慣れ親しむことを目的に幼稚園図書の充実を図る。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
細目	1	本庁幼稚園費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章 第3節 『教育環境の整備・充実』

事業の概要	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 15%;">備品購入費</td> <td style="width: 15%;">図書購入費</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">1,100</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 20px;">* 当初予算において図書購入費は別に110千円を計上済み</p>	備品購入費	図書購入費	1,100
備品購入費	図書購入費	1,100		

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	1,000
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	100
H22 4号補正	1,100
H22 現計予算	130
増減額	970

事業の成果	
-------	--

特定財源の状況
地域活性化交付金 (住民に光を注ぐ交付金)

事業の目標	読書は、国語力を形成している「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表す力」、「国語の知識等」のいずれにもかかわり、これらの力を育てる上で中核となるものである。さらには、すべての活動の基盤である「教養・価値観・感性」などを身につける。
-------	--

備 考	
-----	--

事業名	中央公民館メディア学習機器整備事業					
所管課	生涯学習課中央公民館 (教育委員会事務局)					
事業の目的	生涯学習の充実を図るという観点から、学習のためあらゆる資源の有効な活用(誰もが気軽にパソコンを活用できるよう)					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
目	2	公民館費				
細目	1	本庁公民館費				

根拠条例等	
総合計画	第4章第4節 生涯学習の充実 生涯学習機会の充実

事業の概要	公民館事業で実施しているパソコン教室が好評なことから、老朽化した機器を更新し、初心者を中心とした学習機会の提供を行う。 パソコン機器、周辺機器及び設置設定費用 5,800千円 ・パソコン機器(25台・1台) 3,479千円 ・周辺機器(レーザープリント他)1,763千円 ・設置設定費(PC設置他) 282千円 ・消費税 276千円	財源の内訳																		
		<table border="1"> <tr><td style="background-color: yellow;">分担金</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">使用料</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">国 費</td><td>5,220</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">県 費</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">市 債</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">その他</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">一般財源</td><td>580</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">H23 予算額</td><td>5,800</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">前年度 予算額</td><td>0</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">増減額</td><td>5,800</td></tr> </table>	分担金		使用料		国 費	5,220	県 費		市 債		その他		一般財源	580	H23 予算額	5,800	前年度 予算額	0
分担金																				
使用料																				
国 費	5,220																			
県 費																				
市 債																				
その他																				
一般財源	580																			
H23 予算額	5,800																			
前年度 予算額	0																			
増減額	5,800																			

事業の成果	市民が求める適した学習機会の提供ができ、多くの受講生がえられる事で公民館事業の活性化と学習の動機付や学習効果が高められる
-------	--

事業の目標	今回は、中央公民館講座として開催(2回)する予定 パソコンが新しくなり(Windows7)、基礎編だけでなくデジカメで撮った写真をパソコンへの取り込みむ方法など学習予定。 今後、各分館の生涯学習講座で要望があれば1回でも基礎操作ができるように持ち運び対応していきたい。
-------	--

特定財源の状況
きめ細かな交付金 5,220千円

備考	
----	--

事業名	公民館学習教材整備事業
-----	-------------

所管課	生涯学習課中央公民館 (教育委員会事務局)
-----	-----------------------

一般会計予算		
区分	区分名	
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
細目	1	本庁公民館費

事業の目的	19年度より、中央公民館において夜空の天体観測教室を実施しており、定員を超える参加がある。時間と共に捕捉した天体が移動するため講師の説明に即した天体観測を行うため、自動追尾とモーター駆動による天体の導入が可能になり、望遠鏡の台数を増やして教室の資質向上を図る
-------	---

根拠条例等	
総合計画	第4章第4節 生涯学習の充実 生涯学習機会の充実

事業の概要	<p>天体望遠鏡部品購入</p> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">・二軸モータードライブ (2台)</td> <td style="padding-right: 20px;">89千円</td> <td rowspan="4" style="font-size: 3em; padding-left: 10px;">}</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">合計 736千円</td> </tr> <tr> <td>・反射式鏡筒 (1台)</td> <td>298千円</td> </tr> <tr> <td>・ED屈折式鏡筒 (1台)</td> <td>299千円</td> </tr> <tr> <td>・講師・アシスタント (2回実施)</td> <td>50千円</td> </tr> </table>	・二軸モータードライブ (2台)	89千円	}	合計 736千円	・反射式鏡筒 (1台)	298千円	・ED屈折式鏡筒 (1台)	299千円	・講師・アシスタント (2回実施)	50千円
・二軸モータードライブ (2台)	89千円	}	合計 736千円								
・反射式鏡筒 (1台)	298千円										
・ED屈折式鏡筒 (1台)	299千円										
・講師・アシスタント (2回実施)	50千円										
事業の成果	移動する天体を自動で捕捉するため、天体を探す時間を省き天体観測が容易にでき、その分、講師の話や観測できる時間が充実できる										
事業の目標	より天体観測に親しむ機会を提供する										
備考											

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	662
県費	
市債	
その他	
一般財源	74
H23 予算額	736
前年度 予算額	0
増減額	736

特定財源の状況
きめ細かな交付金 662千円

事業名	大宇陀区小附一区集会所整備事業
-----	-----------------

所管課	総務課（総務部）
-----	----------

事業の目的	コミュニティ活動の拠点となる施設整備を促進するものである。
-------	-------------------------------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	7	自治振興費
細目	1	集会所整備事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章第4節 (2)施設機能の充実 施設の整備

事業の概要	<p style="text-align: center;">＜小附一区集会所整備事業＞</p> <p>事業年度 平成23年度(全体事業費 39,000千円)</p> <p>事業概要 敷地造成工事</p> <p style="text-align: center;">集会所整備 木造平屋建</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	24,000
市 債	
その他	15,000
一般財源	
H23 予算額	39,000
前年度 予算額	0
増減額	39,000

事業の成果	平成16年10月に合併前の大宇陀町長に小附一区総代よりあった要望に応えられ、地域コミュニティの施設として地域活性化の拠点となる。
-------	--

特定財源の状況	
県補助金	24,000千円
コミュニティセンター 助成事業	15,000千円
計	39,000千円

事業の目標	自治会から要望のあった施設整備の解消。
-------	---------------------

備 考	
-----	--

事業名	春日新町集会所整備事業
-----	-------------

所管課	総務課（総務部）
-----	----------

事業の目的	コミュニティ活動の拠点となる施設整備を促進するものである。
-------	-------------------------------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	7	自治振興費
細目	1	集会所整備事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章第4節 (2)施設機能の充実 施設の整備

事業の概要	<p style="text-align: center;">＜春日新町集会所整備事業＞</p> <p>事業年度 平成23年度(全体事業費 25,000千円)</p> <p>事業概要 集会所整備 鉄筋コンクリート平屋建 (旧奈良地方法務局宇陀市局の建物改修)</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	14,000
市 債	
その他	11,000
一般財源	
H23 予算額	25,000
前年度 予算額	0
増減額	25,000

事業の成果	旧奈良地方法務局宇陀支局の建物の有効利用と平成17年12月に合併前に春日新町自治会長よりあった要望に応えられ、地域コミュニティの施設として地域活性化の拠点となる。
-------	---

特定財源の状況	
県補助金	14,000千円
財産収入	11,000千円
計	25,000千円

事業の目標	自治会から要望のあった施設整備の解消。
-------	---------------------

備 考	
-----	--

事業名	宇太地区公民館改修工事
-----	-------------

所管課	生涯学習課中央公民館 (教育委員会事務局)
-----	-----------------------

一般会計予算		
--------	--	--

事業の目的	宇太地区公民館は、地区に於ける生涯学習及び社会教育、地域活動拠点として活用されている。2階部分の雨漏りもしており建物自体の劣化を加速させ地域住民のコミュニティ形成の場が損なわれるため老朽化した施設の改修を行う
-------	--

区分	区分名	
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
細目	40	菟田野公民館費

根拠条例等	
-------	--

総合計画	第4章第4節 生涯学習の充実 施設機能の充実
------	------------------------

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・設計監理業務委託料 1,805千円 ・屋根改修工事 4,723千円 ・窓取替改修工事 475千円 ・畳新調 293千円 ・杉板張替及び外壁塗装工事 1,727千円 <p style="text-align: right;">合計 9,023千円</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	8,571
県費	
市債	
その他	
一般財源	452
H23 予算額	9,023
前年度 予算額	0
増減額	9,023

事業の成果	改修をすることにより、建物自体の延命化がはかれ、地域住民が利用するにあたり、快適に利用できる。
-------	---

特定財源の状況
きめ細かな交付金 8,571千円

事業の目標	地域住民に活動の場を与え地域のコミュニティ形成を支援する
-------	------------------------------

備考	
----	--

事業名	大野地区公民館建設事業
-----	-------------

所管課	生涯学習課（教育委員会事務局）
-----	-----------------

事業の目的	現在の大野地区公民館は、昭和28年建築の旧大野保育所廃所後昭和54年より大野地区公民館として大野地区の公民館活動の拠点として利用されてきているが、老朽化が進み雨漏り等建物の傷みが激しいことから、現在の建物を解体し新築する。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
細目	1	本庁社会教育総務費

根拠条例等	宇陀市公民館条例
-------	----------

総合計画	基本計画 第4章第4節 生涯学習の充実 施設機能の充実
------	-----------------------------

事業の概要	平成23年度積算概要 設計管理委託料 5,000千円
-------	-------------------------------

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	
市 債	5,000
その他	
一般財源	
H23 予算額	5,000
前年度 予算額	0
増減額	5,000

事業の成果	
-------	--

特定財源の状況
過疎債 5,000千円

事業の目標	地域における住民の連帯感が薄れつつある現在にあって、日頃コミュニティ活動の場としてこの施設を中心に活性化を図る
-------	---

備 考	
-----	--

事業名	図書館システム更新事業	
-----	-------------	--

所管課	図書館(教育委員会)
-----	------------

事業の目的	多様化するニーズに応えるため、Webを介した利用者サービス、セキュリティの向上、地域連携の強化など図書館サービス提供の機能強化を図る。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	5	図書館費
細目	1	図書館費

根拠条例等	宇陀市立図書館条例
-------	-----------

総合計画	基本計画 第4章第4節 (2)施設機能の充実
------	------------------------

事業の概要	<p>地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)事業</p> <p>図書館システム更新事業 18,000千円</p> <p>(サーバー等ハードウェア、パッケージソフト、システム導入データ移行作業、機器搬入・設置等、保守料)</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	17,900
県費	
市債	
その他	
一般財源	100
H23 予算額	18,000
前年度 予算額	0
増減額	18,000

事業の成果	<p>パソコン・携帯からの検索・予約などWebサービス機能の向上及び個人情報等に対するセキュリティ機能の強化。</p> <p>地域連携(学校図書館等)の強化により情報の共有化を推進し、地域間格差の解消を図ることができる。</p>
-------	--

特定財源の状況
住民生活に光をそそぐ交付金17,900千円

事業の目標	より利用しやすい図書館の整備
-------	----------------

備考	
----	--

事業名	宇陀市産業振興会議					
所管課	まちづくり支援課（農林商工部）					
事業の目的	宇陀市における産業の振興を図り、活力のある協働のまちづくりを目指すため、産業振興会議を設置する。					
				区分	No.	区分名
				款	6	商工費
				項	1	商工費
				目	7	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				

根拠条例等	宇陀市産業振興会議の設置に関する要綱
総合計画	基本計画 第5章 地域資源を活かした産業・交流振興のまち

事業の概要	「宇陀市産業振興会議」	財源の内訳	
	<p>組織 30人以内の委員で構成(現在21人) 任期は、2年(H22. 12. 2 ~ H24. 12. 1)</p> <p>会議 全体会議と、必要に応じ部会を開催する。 平成23年度は、5回の会議を開催予定している。</p> <p>委員報酬： 428千円 消耗品等： 14千円</p>	分担金	
事業の成果	宇陀市の産業を振興させる施策について、それぞれの分野の最先端で活躍されている方々や、一般の市民の方から意見やアイデアを求め、行政、事業者、市民がそれぞれ役割分担した協働の取り組みを進めることが出来る。	使用料	
		国 費	
事業の目標	平成24年7月頃を目途に、宇陀市の産業を振興させるための政策について市長に提言を行うため、調査研究及び審議を行う。また、早期に政策を実行できるものは、最終提言を待たずに実行していく。	県 費	
		市 債	
備 考		その他	
		一般財源	442
		H23 予算額	442
		前年度 予算額	178
		増減額	264
		特定財源の状況	

事業名	宇陀市暗渠排水設置事業補助金
-----	----------------

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算		
事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	1	農業費
		目	3	農業振興費
		細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
総合計画	基本計画 第5章第1節(1) 農業生産基盤の整備 (3) 農業経営・生産体制の強化

事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 平成23年度事業費 450千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	
		市 債	
		その他	450
		一般財源	
		H23 予算額	450
		前年度 予算額	0
		増減額	450

事業の成果	新規事業	特定財源の状況	
		宇陀市農業支援基金繰入金 450千円	
事業の目標			
備考			

事業名	宇陀市新設雨除ハウス設置事業補助金	
-----	-------------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。		区分	No.	区分名
			款	5	農林水産業費
			項	1	農業費
			目	3	農業振興費
			細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
-------	-------------

総合計画	基本計画 第5章第1節(1) 農業生産基盤の整備 (3) 農業経営・生産体制の強化
------	---

事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 平成23年度事業費 1,500千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	
		市 債	
		その他	1,500
		一般財源	
		H23 予算額	1,500
		前年度 予算額	0
増減額	1,500		

事業の成果	新規事業	特定財源の状況	
		宇陀市農業支援基金繰入金 1,500千円	

事業の目標	
-------	--

備考	
----	--

事業名	自然災害発生に伴う重機借上げ助成事業補助金	
-----	-----------------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	1	農業費
		目	3	農業振興費
		細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
-------	-------------

総合計画	基本計画 第5章第1節(1) 農業生産基盤の整備 (3) 農業経営・生産体制の強化
------	---

事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 平成23年度事業費 510千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	
		市 債	
		その他	510
		一般財源	
		H23 予算額	510
		前年度 予算額	0
増減額	510		

事業の成果	新規事業	特定財源の状況
		宇陀市農業支援基金繰入金 510千円

事業の目標	
-------	--

備 考	
-----	--

事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金	
-----	-----------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	有害鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合に対し補助金を交付する。 市町村臨時交付金を「地域づくり推進基金」として積立て年次事業を行う。		区分	No.	区分名
			款	5	農林水産業費
			項	2	林業費
			目	2	林業振興費
			細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱
-------	------------------------

総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化
------	-----------------------------

事業の概要	事業主体:自治会及び農家組合 補助要件:新たに狩猟免許を受けた者2人を含む3人以上でわなを管理する 補助金額:1地区40,000円以内、次年度以降は20,000円ずつ減額 事業年度:平成22年～平成26年	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	880
		一般財源	
		H23 予算額	880
		前年度 予算額	0
増減額	880		

事業の成果	新規事業	特定財源の状況
		地域づくり推進基金繰入金 (奈良県市町村振興臨時交付金積立て分) 880千円

事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減
-------	----------------------------

備考	
----	--

事業名	有害鳥獣捕獲用檻増設事業		
所管課	農林課 (農林商工部)		
事業の目的	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業を実施する地区に対し捕獲檻を貸し出すため、捕獲檻の増設を行う。	一般会計予算	
		区分	No. 区分名
		款	5 農林水産業費
		項	2 林業費
		目	2 林業振興費
細目	1 林業振興費		
根拠条例等			
総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化		
事業の概要	捕獲檻の増設 50,000円/基×33台	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	1,650
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	
		H23 予算額	1,650
		前年度 予算額	0
		増減額	1,650
事業の成果	新規事業	特定財源の状況	
		きめ細かな交付金 1,650千円	
事業の目標	捕獲檻の増設		
備考			

事業名	有害鳥獣防除ライセンス取得補助金	
-----	------------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	狩猟免許取得により捕獲技術を持つ人物を各地域で育成し、地域ぐるみで効率的迅速な捕獲体制を講じることにより、個体数調整による農地の遊休荒廃化を防止する	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	2	林業費
		目	2	林業振興費
		細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除ライセンス取得事業助成金交付要綱
-------	---------------------------

総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化
------	-----------------------------

事業の概要	狩猟免許新規取得のための経費の一部助成 10,000円/人 平成23年度事業 66人 × 10,000円 = 660千円	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	660
		一般財源	
		H23 予算額	660
		前年度 予算額	100
		増減額	560

事業の成果	新規取得者増加により地域での捕獲体制が整いつつある H21:11人 H22:7人	特定財源の状況	
		地域づくり推進基金繰入金 (奈良県市町村振興臨時交付金積立て分) 660千円	

事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減
-------	----------------------------

備考	
----	--

事業名	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業	
-----	---------------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設設置を行う経費につき助成を行う。		区分	No.	区分名
			款	5	農林水産業費
			項	1	農業費
			目	3	農業振興費
			細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱
-------	----------------------------

総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化
------	-----------------------------

事業の概要	300円/m以内 天井付き囲み柵については300円/m ² 以内 H23年度 300円 × 10km = 3000千円	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	1,500
		一般財源	1,500
		H23 予算額	3,000
		前年度 予算額	3,000
		増減額	0

事業の成果	本事業を利用し、毎年10km以上の防護柵が設置され、鳥獣被害の防止に効果がある。 H21:53件/13km H22:58件/17km	特定財源の状況	
		宇陀市ふるさと水と土保全基金繰入金 1,500千円	

事業の目標	農林産物等への被害防止
-------	-------------

備考	
----	--

事業名	鳥獣被害対策実施隊員報酬			
所管課	農林課（農林商工部）		一般会計予算	
事業の目的	捕獲等を適正かつ効果的に行うことができる者を任命し、 捕獲による鳥獣被害の防止を図る。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	2	林業費
		目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費		

根拠条例等	宇陀市鳥獣被害対策実施隊員に関する要綱
総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化

事業の概要	宇陀市の特別職の職員で非常勤のもの報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 平成23年度 40,000円×16名=640千円 (大宇陀・菟田野・榛原・室生の4地域から各4名づつ)	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	640
		H23 予算額	640
		前年度 予算額	640
		増減額	0

事業の成果	実施隊委員任命により捕獲頭数の増加に繋がった H21:イノシシ103頭 シカ123頭 H22:イノシシ272頭 シカ136頭	特定財源の状況	
事業の目標	効率的な捕獲により鳥獣被害の軽減を図る		

備考	
----	--

事業名	有害鳥獣捕獲報償金					
所管課	農林課（農林商工部）					
事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図る			一般会計予算		
				区分	No.	区分名
				款	5	農林水産業費
				項	2	林業費
				目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費				

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣駆除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化

事業の概要	イノシシ 1頭 3,000円以内 シカ 1頭 5,000円以内 メスシカ 1頭 7,000円以内 サル 1頭 20,000円以内 平成23年度事業 イノシシ 158頭 × 3,000円 = 474千円 オスシカ 65頭 × 5,000円 = 325千円 メスシカ 100頭 × 7,000円 = 700千円 サル 3頭 × 20,000円 = 60千円	財源の内訳	
		分担金	
事業の成果	捕獲頭数の増加による農林作物の被害軽減が図られた。 H21: イノシシ158頭 シカ165頭 サル1頭 を捕獲 H22: イノシシ415頭 シカ185頭 を捕獲	使用料	
		国費	
事業の目標	効率的な捕獲により鳥獣被害の軽減を図る ※効率的な捕獲とは、鳥獣の生態研究・捕獲檻の増設・わな等の免許取得者を増やす・地域との連携などの条件から効果的に檻を設置し駆除することをいう。	県費	250
		市債	
備考		その他	
		一般財源	1,309
		H23 予算額	1,559
		前年度 予算額	996
		増減額	563
		特定財源の状況	
		ニホンジカ特定鳥獣保護管理計画推進事業補助金 250千円	

事業名	県単有害鳥獣防護施設共同設置事業	
-----	------------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設設置を行う経費につき助成を行う。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	2	林業費
		目	2	林業振興費
		細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣被害防除事業補助金交付要綱
-------	----------------------

総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化
------	-----------------------------

事業の概要	1ヶ所当たりの事業費は10万円以上50万円以内 受益3戸以上 6/10以内(県1/2以内 市1/10以上)	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	891
		市 債	
		その他	
		一般財源	891
		H23 予算額	1,782
		前年度 予算額	1,782
増減額	0		

事業の成果	本事業を利用し、防護柵が設置され、鳥獣被害の防止に効果がある H21:5箇所 電気柵1083m ワイヤーメッシュ400m H22:5箇所 電気柵2572m ワイヤーメッシュ700m	特定財源の状況	
		有害鳥獣駆除事業補助金 891千円	

事業の目標	農林産物等への被害防止
-------	-------------

備 考	
-----	--

事業名	有害鳥獣猟友会補助金		
所管課	農林課 (農林商工部)		一般会計予算
事業の目的	有害鳥獣捕獲の推進	区分	区分名
		款	5 農林水産業費
		項	2 林業費
		目	2 林業振興費
細目	1 林業振興費		

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣被害防除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化

事業の概要	宇陀市猟友会が行う有害鳥獣捕獲に要する経費について補助する	財源の内訳																		
		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国 費</td><td></td></tr> <tr><td>県 費</td><td>545</td></tr> <tr><td>市 債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>545</td></tr> <tr><td>H23 予算額</td><td>1,090</td></tr> <tr><td>前年度 予算額</td><td>1,090</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>0</td></tr> </table>	分担金		使用料		国 費		県 費	545	市 債		その他		一般財源	545	H23 予算額	1,090	前年度 予算額	1,090
分担金																				
使用料																				
国 費																				
県 費	545																			
市 債																				
その他																				
一般財源	545																			
H23 予算額	1,090																			
前年度 予算額	1,090																			
増減額	0																			

事業の成果	捕獲頭数の増加による被害軽減が図られた。	特定財源の状況
	H21:イノシシ158頭 シカ165頭 サル1頭 H22:イノシシ415頭 シカ185頭	

事業の目標	有害鳥獣捕獲による農林産物被害の軽減
備 考	

事業名	有害獣捕獲新型装置導入支援事業			
所管課	農林課 (農林商工部)			
事業の目的	奈良県ニホンジカ保護管理計画に基づくニホンジカの被害防止を図るため、効率的な捕獲を行う	一般会計予算		
		区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	2	林業費
		目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費		
根拠条例等				
総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化			
事業の概要	兵庫県森林動物研究センターが開発した新型シカ捕獲装置の導入 県補助金100万円の定額	財源の内訳		
		分担金		
		使用料		
		国 費		
		県 費	1,000	
		市 債		
		その他		
		一般財源		
		H23 予算額	1,000	
		前年度 予算額	0	
増減額	1,000			
事業の成果	新規事業			
事業の目標	ニホンジカの効率的な捕獲による被害軽減			
備 考				
		特定財源の状況		
		有害獣捕獲新型装置導入 支援事業補助金 1,000千 円		

事業名	宇陀名張地域鳥獣害防止広域対策事業	
所管課	農林課 (農林商工部)	
事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止 国 協議会への直接補助事業	一般会計予算
		区分
		区分名
		款
		項
目		
細目		
根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律	
総合計画	基本計画 第5章第1節(3) 農業経営・生産体制の強化	
事業の概要	ソフト事業(補助率:定額 事業費440万) ニホンザル群の個体数及び群構成の調査 モンキードッグ育成 追払いグッズの配布 獣肉利用の推進 不要果樹伐採等	財源の内訳
	ハード事業(補助率1/2 事業費800万) 防護柵設置 協議会への直接補助	分担金
事業の成果	モンキードッグ:3頭育成 名張B群:50頭の把握 アライグマ捕獲檻65基の導入	使用料
		国 費
事業の目標	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止	県 費
		市 債
備 考		その他
		一般財源
		H23 予算額
		前年度 予算額
		増減額
		特定財源の状況

事業名	中山間地域直接支払事業		
所管課	農林課（農林商工部）		
事業の目的	河川の上流地域に位置し、傾斜地が多い等の立地特性から農業生産活動等を通じ国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮されている。しかし、高齢化が進行するなか、平地地域と比べて農業生産条件が不利な地域があることから、担い手の減少、耕作放棄地の増加等によって、多面的機能の低下が懸念されている。 このため、農業生産活動等を通じて中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、当該農業生産活動等を行う農業者に対し、直接支払いを実施する。		
	区分	No.	
	区分名		
	款	5	農林水産業費
	項	1	農業費
目	3	農業振興費	
細目	4	中山間地域直接支払事業	

根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金交付要綱
総合計画	基本計画 第5章第1節 (3)農業経営・生産体制強化

事業の概要	実施期間	平成22年度～平成26年度	財源の内訳	
	交付対象集落	41集落	分担金	
	交付対象面積	2,503,503㎡	使用料	
	事業費	43,505千円	国費	21,183
			県費	11,159
			市債	
			その他	
			一般財源	11,163
			H23 予算額	43,505
			前年度 予算額	47,449
		増減額	▲ 3,944	
事業の成果	耕作放棄地の防止等による多面的機能の維持・向上を行った。		特定財源の状況	
事業の目標	耕作放棄地の発生の防止・多面的機能の確保のため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年間以上農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを行っていく。		中山間地域等直接支払交付金(国・県)	
備考				

事業名	農業経営体育成交付金	
-----	------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	本市の農業は、住民への食料の安定供給という使命に加え地域社会の活力の維持、自然環境の保全等の多面的な機能を有しており、豊かでゆとりのある生活の実現のために欠かすことの出来ない重要な役割をはたしている。しかしながら、農業は、農業所得の激減、農業従事者の減少・高齢化の進展、農地面積の減少等を受け厳しい状況におかれている。このような中で、農業生産の持続性を確保し、住民への重要な役割を果たしていくためには、意欲ある多様な経営体の育成・確保を図っていくことが必要である。このため、それぞれの経営体が直面している課題に応じたきめ細やかな支援の実施を通じて、意欲ある多様な経営体を育成・確保するものとする。		
	区分	No.	
	区分名		
	款	5	農林水産業費
	項	1	農業費
目	3	農業振興費	
細目	7	経営体育成交付金	

根拠条例等	平成22年6月30日付け宇陀市告示第76号宇陀市経営体育成交付金交付要綱
-------	--------------------------------------

総合計画	基本計画 第5章 第1節 (2)農業の担い手の育成・確保 (3)農業経営・生産体制の強化
------	--

事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>経営体数</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> <th>助成金</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">新規就農補助事業</td> <td rowspan="3">1</td> <td>ハウス</td> <td>5,116</td> <td>2,557</td> <td rowspan="3">事業費の50%以内補助</td> </tr> <tr> <td>トラクター</td> <td>2,646</td> <td>1,323</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>7,762</td> <td>3,880</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">融資主体型補助事業</td> <td>1</td> <td>ハウス</td> <td>3,048</td> <td>914</td> <td rowspan="6">事業費の30%以内補助</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>牛舎改良</td> <td>4,496</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ハウス 井戸</td> <td>2,392</td> <td>717</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>農産物粉砕機</td> <td>3,990</td> <td>1,140</td> </tr> <tr> <td>農産物粉末機</td> <td>3,360</td> <td>960</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>乾燥機 選別機</td> <td>1,313</td> <td>393</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>21,839</td> <td>5,983</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">共同利用施設補助</td> <td rowspan="3">1</td> <td>乾燥機</td> <td>6,214</td> <td>3,106</td> <td rowspan="3">事業費の50%以内補助</td> </tr> <tr> <td>糞溜機</td> <td>945</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>7,159</td> <td>3,311</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>36,760</td> <td>13,174</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		経営体数	内容	事業費	助成金	備考	新規就農補助事業	1	ハウス	5,116	2,557	事業費の50%以内補助	トラクター	2,646	1,323	小計	7,762	3,880	融資主体型補助事業	1	ハウス	3,048	914	事業費の30%以内補助	2	牛舎改良	4,496	900	3	ハウス 井戸	2,392	717	4	農産物粉砕機	3,990	1,140	農産物粉末機	3,360	960	5	乾燥機 選別機	1,313	393		小計	21,839	5,983	共同利用施設補助	1	乾燥機	6,214	3,106	事業費の50%以内補助	糞溜機	945	205	小計	7,159	3,311		合計	36,760	13,174		財源の内訳
		経営体数	内容	事業費	助成金	備考																																																												
新規就農補助事業	1	ハウス	5,116	2,557	事業費の50%以内補助																																																													
		トラクター	2,646	1,323																																																														
		小計	7,762	3,880																																																														
融資主体型補助事業	1	ハウス	3,048	914	事業費の30%以内補助																																																													
	2	牛舎改良	4,496	900																																																														
	3	ハウス 井戸	2,392	717																																																														
	4	農産物粉砕機	3,990	1,140																																																														
		農産物粉末機	3,360	960																																																														
	5	乾燥機 選別機	1,313	393																																																														
	小計	21,839	5,983																																																															
共同利用施設補助	1	乾燥機	6,214	3,106	事業費の50%以内補助																																																													
		糞溜機	945	205																																																														
		小計	7,159	3,311																																																														
	合計	36,760	13,174																																																															
		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td>13,174</td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>H23 予算額</td><td>13,174</td></tr> <tr><td>前年度 予算額</td><td>32,336</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 19,162</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費		県費	13,174	市債		その他		一般財源		H23 予算額	13,174	前年度 予算額	32,336	増減額	▲ 19,162																																												
分担金																																																																		
使用料																																																																		
国費																																																																		
県費	13,174																																																																	
市債																																																																		
その他																																																																		
一般財源																																																																		
H23 予算額	13,174																																																																	
前年度 予算額	32,336																																																																	
増減額	▲ 19,162																																																																	
事業の成果	<p>平成22年度の実績</p> <p>新規就農補助…5経営体、事業費31,137千円、助成金13,837千円</p> <p>融資主体型補助…19経営体、事業費63,674千円、助成金17,862千円</p> <p>共同利用施設補助…1経営体、事業費1,275千円、助成金637千円</p> <p>合計…25経営体、事業費96,086千円、助成金32,336千円</p>	特定財源の状況																																																																
事業の目標	新規就農者、認定農業者、集落営農等地域農業を担う者が農業機械の更新、導入及び共同利用施設の整備等で、就農規模拡大、経営の多角化などの経営改善を行うことにより、地域の農業経営を活性化させる。	農業経営体育成交付金 13,174千円																																																																
備考																																																																		

事業名	農業戸別所得補償制度事務費				
所管課	農林課（農林商工部）				
事業の目的	農業戸別所得補償制度において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務について行う。また、集落営農の法人化に必要な事務費助成、集落営農の経理事務担当者を育成する活動等を支援する。				
			区分	No.	区分名
			款	5	農林水産業費
			項	1	農業費
			目	3	農業振興費
細目	6	戸別所得補償制度導入推進事業			

根拠条例等	奈良県戸別所得補償制度導入推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第5章第1節(1) 農業生産基盤の整備 (3) 農業経営・生産体制の強化

事業の概要	23予算	財源の内訳																																			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>報償費</td><td style="text-align: right;">1,147</td></tr> <tr><td>人件費</td><td style="text-align: right;">100</td></tr> <tr><td>賃金</td><td style="text-align: right;">968</td></tr> <tr><td>需用費</td><td style="text-align: right;">2,851</td></tr> <tr><td>役務費</td><td style="text-align: right;">300</td></tr> <tr><td>備品費</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td style="text-align: right;">40</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">5,406</td></tr> </table>	報償費	1,147	人件費	100	賃金	968	需用費	2,851	役務費	300	備品費	0	負担金	40	合計	5,406	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td style="text-align: right;">5,406</td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>H23予算額</td><td style="text-align: right;">5,406</td></tr> <tr><td>前年度予算額</td><td style="text-align: right;">5,512</td></tr> <tr><td>増減額</td><td style="text-align: right;">▲ 106</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費		県費	5,406	市債		その他		一般財源		H23予算額	5,406	前年度予算額	5,512	増減額
報償費	1,147																																				
人件費	100																																				
賃金	968																																				
需用費	2,851																																				
役務費	300																																				
備品費	0																																				
負担金	40																																				
合計	5,406																																				
分担金																																					
使用料																																					
国費																																					
県費	5,406																																				
市債																																					
その他																																					
一般財源																																					
H23予算額	5,406																																				
前年度予算額	5,512																																				
増減額	▲ 106																																				
事業の成果	H22年度実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>報償費</td><td style="text-align: right;">906,130 円</td></tr> <tr><td>人件費</td><td style="text-align: right;">200,000 円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td style="text-align: right;">312,980 円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td style="text-align: right;">659,061 円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td style="text-align: right;">255,643 円</td></tr> <tr><td>備品費</td><td style="text-align: right;">165,532 円</td></tr> <tr><td>負担金</td><td style="text-align: right;">36,000 円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">2,535,346 円</td></tr> </table>	報償費	906,130 円	人件費	200,000 円	賃金	312,980 円	需用費	659,061 円	役務費	255,643 円	備品費	165,532 円	負担金	36,000 円	合計	2,535,346 円	特定財源の状況																			
報償費	906,130 円																																				
人件費	200,000 円																																				
賃金	312,980 円																																				
需用費	659,061 円																																				
役務費	255,643 円																																				
備品費	165,532 円																																				
負担金	36,000 円																																				
合計	2,535,346 円																																				
事業の目標	農業者戸別所得補償制度の推進活動を行い、制度加入者の申請書類等の配布・回収の申請手続を支援し、奈良農政事務所等へ情報を提供する。																																				
備考																																					

農業戸別所得補償制度導入推進事業補助金
5,406千円

事業名	米作数量調整円滑化推進事業事務費					
所管課	農林課（農林商工部）					
事業の目的	米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等の経費について補助する。					
				一般会計予算		
				区分	No.	区分名
				款	5	農林水産業費
				項	1	農業費
目	3	農業振興費				
細目	2	数量調整円滑化推進事業費				

根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第5章第1節(1) 農業生産基盤の整備 (3) 農業経営・生産体制の強化

事業の概要	<table border="1"> <tr> <td>農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費</td> <td style="text-align: right;">36,400</td> </tr> <tr> <td>生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費</td> <td style="text-align: right;">91,000</td> </tr> <tr> <td>水稻生産実施計画書の作成等に要する経費</td> <td style="text-align: right;">722,000</td> </tr> <tr> <td>米の生産調整実施者の確認に要する経費</td> <td style="text-align: right;">243,600</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">1,093,000</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p>	農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費	36,400	生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費	91,000	水稻生産実施計画書の作成等に要する経費	722,000	米の生産調整実施者の確認に要する経費	243,600	計	1,093,000	財源の内訳
	農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費	36,400										
	生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費	91,000										
	水稻生産実施計画書の作成等に要する経費	722,000										
	米の生産調整実施者の確認に要する経費	243,600										
	計	1,093,000										
		分担金										
		使用料										
		国費										
		県費	1,092									
		市債										
		その他										
		一般財源	1									
		H23 予算額	1,093									
		前年度 予算額	957									
		増減額	136									
事業の成果	<table border="1"> <tr> <td>農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費</td> <td style="text-align: right;">30,000</td> </tr> <tr> <td>生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費</td> <td style="text-align: right;">80,000</td> </tr> <tr> <td>水稻生産実施計画書の作成等に要する経費</td> <td style="text-align: right;">647,000</td> </tr> <tr> <td>米の生産調整実施者の確認に要する経費</td> <td style="text-align: right;">200,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">957,000</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p>	農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費	30,000	生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費	80,000	水稻生産実施計画書の作成等に要する経費	647,000	米の生産調整実施者の確認に要する経費	200,000	計	957,000	特定財源の状況
	農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費	30,000										
	生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費	80,000										
	水稻生産実施計画書の作成等に要する経費	647,000										
米の生産調整実施者の確認に要する経費	200,000											
計	957,000											
		米作数量調整円滑化推進事業補助金 1,092千円										
事業の目標	米政策改革を推進するため、宇陀市の振興作物・販売、水田活用、担い手の育成等の将来方向を明確にし、生産対策及び経営対策を実施する事により水田農業の構造改革を促進する。											
	備考											

事業名	水と農地活用促進(農業基盤整備)事業	
-----	--------------------	--

所管課	農林課 (農林商工部)	一般会計予算
-----	-------------	--------

事業の目的	国庫補助土地改良事業の対象とならない小規模な施設を対象とする、遊休農地の発生防止、活用等のための営農条件整備。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	1	農業費
		目	3	農業振興費
		細目	89	水と農地活用促進事業費

根拠条例等	「土地改良法第96条の2」(土地改良事業の開始)
-------	--------------------------

総合計画	基本計画 第5章第1節 (1)農業生産基盤の整備
------	--------------------------

事業の概要	宇陀市榛原区池上 岩鼻井堰改良工事 L=36.3m 宇陀市室生区向淵 池台団地用排水路改修工事 L=240m 宇陀市菟田野区松井 ゲート(CT1-600)取付工事 1式	財源の内訳	
		分担金	3,530
		使用料	
		国費	
		県費	5,220
		市債	
		その他	
		一般財源	8,800
		H23 予算額	17,550
		前年度 予算額	0
増減額	17,550		

事業の成果	事業で整備することにより、農地の利用集積ができる。	特定財源の状況	
		水と農地活用促進事業分担金 3,480千円	
		水と農地活用促進事業県補助金 5,220千円	

事業の目標	農地が効率的に作付けできると共に、生産性の向上をはかる。	土地改良施設維持管理適正化事業分担金 50千円	

備考	
----	--

事業名	農地・水・環境保全地域協議会負担金
-----	-------------------

所管課	農林課（農林商工部）
-----	------------

事業の目的	農地・農業用水等の資源は、食料の安定供給や農業の多面的機能を発揮させるための基盤となる社会共通資本である。しかし、これらの資源は、過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、その適切な保全管理が困難となってきた。このような状況に対応するため、地域の農業者だけでなく、地域住民や都市住民も含めた多様な主体の参画を得て、これらの資源の適切な保全管理を行うと共に農村環境の保全等にも役立つ地域共同の効果の高い取組を促進する必要があり、これらの資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみでの効果の高い活動へ支援する。		
	区分	No.	区分名
	款	5	農林水産業費
	項	1	農業費
	目	3	農業振興費
細目	3	農地・水・環境保全向上対策事業費	

根拠条例等	農地・水・環境保全向上対策実施要綱 平成21年3月13日付け20農振第1942号
-------	--

総合計画	基本計画 第5章 第1節 (1)農業生産基盤の整備(4)付加価値の高い農産物づくりの推進
------	--

事業の概要	事業の目的にあった活動に取り組んだ各組織に対して、交付金を交付す	財源の内訳	
	共同活動	分担金	
	(集落の草刈り、道路、水路の補修作業、農業施設の維持管理作業等)	使用料	
	大宇陀区…8組織、交付金6,150,720円(内宇陀市負担1,538千円)	国 費	
	菟田野区…1組織、交付金350,720円(内宇陀市負担88千円)	県 費	246
	榛原区…8組織、交付金5,575,280円(内宇陀市負担1,394千円)	市 債	
	室生区…7組織、交付金4,299,440円(内宇陀市負担1,075千円)	その他	
	合 計…24組織、交付金16,376,160円(内宇陀市負担4,095千円)	一般財源	4,597
	営農活動	H23 予算額	4,843
	(化学肥料、化学農薬の低減等の環境に配慮した営農活動への取組)	前年度 予算額	4,843
榛原区…2組織、交付金2,000千円(内宇陀市負担500千円)	増減額	0	
需用費…200千円 役務費…48千円			

事業の成果	共同活動	特定財源の状況	
	(集落の草刈り、道路、水路の補修作業、農業施設の維持管理作業等)	農地・水・環境保全向上対策事業費 246千円	
	大宇陀区…8組織、交付金6,150,720円(内宇陀市負担1,537,680円)		
	菟田野区…1組織、交付金350,720円(内宇陀市負担87,680円)		
	榛原区…8組織、交付金5,575,280円(内宇陀市負担1,393,820円)		
	室生区…7組織、交付金4,299,440円(内宇陀市負担1,074,860円)		
	合 計…24組織、交付金16,376,160円(内宇陀市負担4,094,040円)		
	営農活動		
	(化学肥料、化学農薬の低減等の環境に配慮した営農活動への取組)		
	榛原区…2組織、交付金2,000千円(内宇陀市負担500千円)		
	需用費…200千円 役務費…48千円		

事業の目標	本対策に取り組むことにより、地域ぐるみで効果の高い共同活動及び農業者ぐるみでの先進的な営農活動の実施主体として、社会共通資本としての農地・農業用水等の資源を農村環境の保全等にも役立つよう、さらには、それらの資源を活用した営農活動を一体として、質を高めながら、将来にわたって保全し、地域の振興に資するものとする。
-------	---

備 考	
-----	--

事業名	農山村まるごと体験ウォーク、農林産物品評会	
-----	-----------------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	(農山村まるごと体験ウォーク)宇陀地域の多面的機能と魅力、農業への興味・理解を深め、農業体験やイベントを通じて、地域の活性化を目指す。また、都市と農村の交流を図る。 (農林産物品評会)農林産物の生産性及び品質の向上により、営農意欲の増進を図る。消費者に農林産物を販売し、新鮮・安心・安全性を啓蒙・啓発することで、地域農林業の発展を図る。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	1	農業費
		目	3	農業振興費
		細目	1	農業振興費

根拠条例等	開催要綱に基づき実施
-------	------------

総合計画	第5章 第1節 (3)農業経営・生産体制の強化 (4)付加価値の高い農産物づくりの推進
------	---

事業の概要	(農山村まるごと体験ウォーク)	財源の内訳	
	(農林産物品評会) 農林家より、市内で生産された農林産物を出品いただき、品評会および即売会を実施。	分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	
		市 債	
		その他	
		一般財源	444
		H23 予算額	444
		前年度 予算額	255
		増減額	189

事業の成果	(農山村まるごと体験ウォーク) H21年度は、宇陀市主催で、室生区深野において実施。参加者200人。中山間地域の多面的機能の良好な発揮と持続的保全について参加者を通して広くPRを行った。	特定財源の状況
	(農林産物品評会) H21年度は、宇陀市内各区より192点の出品があり、奈良県知事賞など27名が受賞。	
事業の目標	(農山村まるごと体験ウォーク) 今後もイベントを通じて中山間地域の機能と魅力、また農業への興味と理解を市内・外の多くの人に深めてもらい、地域の新たな魅力の創造と活性化を目指す。 (農林産物品評会) 品評会を通して、農林家のより一層の営農意欲と生産性・品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のPRを行う。	

備 考	
-----	--

事業名	森林環境税緊急間伐事業			
所管課	農林課（農林商工部）		一般会計予算	
事業の目的	平成18年4月から「奈良県森林環境税条例」の施行により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い放置林について緊急間伐を行い、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	2	林業費
		目	2	林業振興費
		細目	2	森林環境税緊急間伐事業

根拠条例等	奈良県森林環境税条例
総合計画	基本計画 第5章第1節 (7)森林の多目的利用の促進

事業の概要	森林環境税緊急間伐事業(奈良県) 計画年度 H18年度から実施 事業概要 間伐面積 A=130ha 事業費 43,223千円 ①バッファゾーン(近畿・東海自然歩道) ②室生赤目青山国定公園 ③市で緊急間伐を行うべきエリア ①～③の区域で10年以上の未間伐人工林を対象に40%以上の間伐を実施	財源の内訳																			
		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td>44,969</td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1</td></tr> <tr><td>H23予算額</td><td>44,970</td></tr> <tr><td>前年度予算額</td><td>44,283</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>687</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費		県費	44,969	市債		その他		一般財源	1	H23予算額	44,970	前年度予算額	44,283	増減額
分担金																					
使用料																					
国費																					
県費	44,969																				
市債																					
その他																					
一般財源	1																				
H23予算額	44,970																				
前年度予算額	44,283																				
増減額	687																				
事業の成果	平成18年度～平成21年度の4ヶ年で、市全体482.15haを実施 平成18年度の実績 間伐面積A= 93.40ha、 平成19年度の実績 間伐面積A=138.76ha、 平成20年度の実績 間伐面積A=148.93ha、 平成21年度の実績 間伐面積A=101.06ha、 平成22年度の計画 間伐面積A=87.87ha、	特定財源の状況																			
事業の目標	奈良県森林環境税も平成23年度から2期目(H23～H27の5ヶ年間)に入るが、今後も積極的に緊急間伐を行い間伐整備の無い山林を荒廃から阻止し、健全な森林の持つ機能を回復していきたい。	森林環境税緊急間伐事業 委託金 44,969千円																			
備考																					

事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業	
-----	-------------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐等促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取組み（地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業等）を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。		区分	No.	区分名
			款	5	農林水産業費
			項	2	林業費
			目	2	林業振興費
			細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備交付金交付要綱
総合計画	第5章 第1節（5）林業の担い手の育成確保（6）林産物の加工販売、流通の促進（7）森林の多面的利用の促進

事業の概要	森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設等)に対し、予算の範囲内で、事業に係る経費の1/2を補助する。 市では、宇陀市森林組合と室生村森林組合が、森林所有者の代理となって交付申請を行って。		財源の内訳	
			分担金	
			使用料	
			国費	
			県費	18,662
事業の概要	全体事業費 37,324千円 うち国庫 18,662千円 所有者負担 18,662千円 事業概要 ・間伐 127.3ha ・作業路開設 L = 1,500m		市債	
			その他	
			一般財源	
			H23 予算額	18,662
			前年度 予算額	6,733
事業の成果	奈良県実施の造林事業では対象とならない高齢級林(60年生以上)についても間伐等事業の対象となるため、市内山林の間伐等の整備を行うことにより、森林のもつ多面的機能の維持増進が図られる。		特定財源の状況	
			美しい森林づくり基盤整備交付金 18,662千円	
事業の目標	地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備を支援することを目標とする。			
備考				

事業名	森林整備地域活動支援交付金事業	
-----	-----------------	--

所管課	農林課（農林商工部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	適時適切な森林施業が十分に行われない森林の発生を防止し、森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林施業計画の作成を通じた森林整備の推進を図る。	
	区分	No.
	款	5 農林水産業費
	項	2 林業費
	目	2 林業振興費
細目	4 森林整備地域活動支援事業	

根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱
-------	----------------------

総合計画	第5章 第1節 (5)林業の担い手の育成確保 (6)林産物の加工販売、流通の促進 (7)森林の多面的利用の促進
------	---

事業の概要	森林施業計画の認定を受けた森林所有者(団地)の代表と市との間で協定を締結し、対象となる森林面積のうちの積算基礎森林面積(45年生以下の人工林)1ha当たり5,000円を交付。	財源の内訳																			
	団地数 20団地 積算基礎森林面積 6,500ha 交付対象となる行為 ・施業実施区域の明確化作業 ・歩道の整備(路面、路肩等の補修)	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>16,600</td></tr> <tr><td>県費</td><td>8,125</td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>8,476</td></tr> <tr><td>H23 予算額</td><td>33,201</td></tr> <tr><td>前年度 予算額</td><td>32,500</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>701</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費	16,600	県費	8,125	市債		その他		一般財源	8,476	H23 予算額	33,201	前年度 予算額	32,500	増減額
分担金																					
使用料																					
国費	16,600																				
県費	8,125																				
市債																					
その他																					
一般財源	8,476																				
H23 予算額	33,201																				
前年度 予算額	32,500																				
増減額	701																				

事業の成果	各団地とも交付金を有効的に活用し、施業実施区域の明確化作業や歩道の整備(改良補修活動等)を行い、適切な森林整備を実施している。	特定財源の状況
事業の目標	森林所有者等による適時適切な施業実施を確保するため、その実施に不可欠な施業区域の明確化や歩道整備等の地域活動を支援する。	森林整備地域活動支援事業補助金(国・県費)

備考	
----	--

事業名	県産材生産促進事業
-----	-----------

所管課	農林課（農林商工部）
-----	------------

事業の目的	森林の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図るため、宇陀市内の森林組合に対し県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。		一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	5	農林水産業費	
			項	2	林業費	
			目	2	林業振興費	
細目	86	県産材生産促進事業				

根拠条例等	宇陀市県産材生産促進事業補助金交付要綱
-------	---------------------

総合計画	第5章 第1節 (5)林業の担い手の育成確保 (6)林産物の加工販売、流通の促進 (7)森林の多面的利用の促進
------	---

事業の概要	搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材を森林組合が行う事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付。 1m3あたり 県:2,000円 市:1,500円を補助 事業量 V = 2,351.1m3	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	
		県 費	4,702
		市 債	
		その他	
		一般財源	3,527
		H23 予算額	8,229
		前年度 予算額	4,550
		増減額	3,679

事業の成果	未利用となっている県産材(間伐材等)の搬出及び利用促進を図ることができた。 平成22年度 V=980m3	特定財源の状況	
		県産材生産促進事業補助金 4,702千円	

事業の目標	未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図ることを目標とする
-------	----------------------------------

備 考	
-----	--

事業名	天然記念物保存事業向淵スズラン群落保存管理計画等策定事業	
-----	------------------------------	--

所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)	一般会計予算
-----	-------------------	--------

事業の目的	室生区向淵にある天然記念物指定のスズラン自生南限地の保存管理計画等策定・再生事業現状調査し、長く保護していくための保存管理計画を作成することを目的とする。	区分	No.	区分名
		款	9	教育費
		項	5	社会教育費
		目	4	文化財保護費
		細目	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例 第10条	宇陀市文化財補助金要綱
-------	-----------------	-------------

総合計画	基本計画 第5章第3節 (1) 文化財の保護・活用
------	---------------------------

事業の概要	当地は、スズラン自生の南限地帯にあたる貴重な群落として、昭和5年に国から天然記念物の指定を受けたが、戦後薪炭林からスギ・ヒノキ植林への移行、下草刈りや緑肥利用の減少によりスズラン生育に好ましくない環境へと変化しスズランが減少してきた、又近年はドイツスズランとの交雑が憂慮される事態となっていることから管理計画を策定する事業。 天然記念物名称 向淵スズラン群落 天然記念物所在地 宇陀市室生区向淵 (タヌキヤブ、オクシバ) 天然記念物指定年月日 昭和5年11月19日	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	1,650
		県費	495
		市債	
		その他	
		一般財源	1,162
		H23 予算額	3,307
		前年度 予算額	2,702
		増減額	605

事業の成果	平成9年度の調査の際にはタヌキヤブとオクシバ合わせて面積約500㎡で約5,500株が生育し、密度は1㎡あたり20~26株であった。平成21年度調査では、合わせて面積約217㎡で約29,000株が生育し密度はオクシバで約119株、タヌキヤブで約136株であった。分布調査・生育調査・環境測定を実施、指導委員会を開催	特定財源の状況	
		天然記念物調査再生事業費補助金(国・県費)	
事業の目標	前回の調査から10年以上経過しているため、現段階において、スズラン群落の現状を調査・把握し今後長く保護していくための保存管理計画を作成する。最終年度で環境整備工事(柵・説明板等設置)を実施		
備考			

事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業					
所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・それ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行う、伝建物以外の建造物の新築や増改築に際しても計画に定められた基準に従って周囲の伝建物と調和するよう工事が進められるこれを「修景」という、又地区内の防災施設等の整備を行うことを目的とする。					
				一般会計予算		
				区分	No.	区分名
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費				
細目	21	まちなみ保存整備事業費				

根拠条例等	文化財保護法 宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例
総合計画	基本計画 第5章第3節 (3) 歴史・文化資源の整備と充実

事業の概要	周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を「伝統的建造物群保存地区」国は特にその価値が高いものを「重要伝統的建造物群保存地区」に選定、宇陀松山地区は奈良県で二番目に選定された。 保 存への取組として修理・修景に補助をするものである。 国選定 平成18年7月5日 指定面積17ha 事業期間 H18～	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	13,141
		県費	7,533
		市債	
		その他	
		一般財源	6,055
		H23 予算額	26,729
		前年度 予算額	25,734
増減額	995		
事業の成果	修理・修景補助については、申請いただいた物件について選定委員会を開催し、緊急度・効果の高いものの中から採択をして年間4～6件の工事について補助をおこなっている。建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、事業への関心が高まっており、申請件数も年々増加しており待機状態が続いている状況である。又先進地研修やまちづくり講座等住民に対しての啓発活動を行っている。	特定財源の状況	
事業の目標	重伝建地区(宇陀松山地区)は、奈良県内3箇所の中のひとつであり、後世に引き継いでいく貴重な財産であります。観光客数も年々増加傾向にあり、伝建地区の価値の向上を図っていくにあたり、宇陀松山城跡と城下町を一体的に捉え、観光面とリンクさせながら都市間・世代間交流を図り流入人口の増加を目指します。	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金 (国・県費)	
備考			

事業名	街なみ環境整備事業					
所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	歴史的環境の保存と住環境の整備との共生を図りながら、良好な住環境の整備を図る事業。文化財としての街なみ景観の保存と住民が居住する住宅地区で実施することが必要である。					
				一般会計予算		
				区分	No.	区分名
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
目	6	街なみ環境整備事業費				
細目	20	街なみ環境整備事業費				

根拠条例等	国土交通省 街なみ環境整備事業制度要綱
総合計画	基本計画 第5章第3節 (3) 歴史・文化資源の整備と充実

事業の概要	松山地区の地域の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりを実施するための整備、道路電柱の美装・街路灯整備・公園整備・生活環境施設整備・防火施設整備等の住環境の整備改善を行う事業。 宇陀市大宇陀区松山地区 区域面積 35ha	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国 費	10,500
		県 費	
		市 債	10,400
		その他	
		一般財源	995
		H23 予算額	21,895
		前年度 予算額	30,657
増減額	▲ 8,762		

事業の成果	道路の美装化・街路灯の整備 L=1,560m 公園の整備 2箇所 生活環境施設の整備 2箇所 防災施設の整備 地下式防火水槽1基 消火栓5基 を実施	特定財源の状況	
		街なみ環境整備事業補助金 10,500千円 合併特例債 10,400千円	
事業の目標	街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は、城下町・商家町であり、重要伝統的建造物群保存地区、宇陀松山城跡と一体的事業として位置づけ、又周辺には数多くの文化財をはじめ公園施設・自然環境施設・温泉施設・スポーツ施設等があり、市民の交流を深めていく上での重要な地区であります。少子高齢化や核家族化が進んでいく中で世代間交流の果たす役割、イベント等での市民とそれ以外の方との地域間交流が重要であると考えます。		
備 考			

事業名	史跡宇陀松山城保存整備事業					
所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	宇陀松山城は、豊臣政権のもとで大和郡山城・高取城と並ぶ大和支配の拠点として誕生。宇陀松山城跡の特徴として、城郭全域にわたって城割を受けていることである、今後の保存整備の方向性を考える場合その範囲、内容等の把握が必要である。又城割の時期、内容等が一体として把握できる非常にまれな事例であるので、将来的な城跡の整備・公開等を考慮し保存整備をしていくことが目的である。					
				区分	No.	区分名
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
				目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業				

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画 第5章第3節 (3) 歴史・文化資源の整備と充実

事業の概要	宇陀松山城跡は、平成18年7月に国史跡指定を受ける、指定面積は67,667㎡であり、そのうち総石垣づくりの22,450㎡の公有化を実施している。整備範囲は公有化を行った範囲を中心に城跡への登城道部分を対象とする。宇陀松山城跡の特徴として城割を受けていることがあげられるので、遺構内容・城割の状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めている。	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	7,000
		県費	2,100
		市債	16,200
		その他	
		一般財源	95
		H23 予算額	25,395
		前年度 予算額	15,855
増減額	9,540		

事業の成果	史跡宇陀松山城跡保存整備基本計画を基に、平成20年から10年計画で調査・設計・保存整備を実施しているところでありまず。	特定財源の状況	
事業の目標	宇陀市のシンボルとして位置づけ、市民相互が集い、憩う場として、その活用を図る為、史跡宇陀松山城跡の測量・発掘調査を行う。天守郭周囲の石垣部分の発掘調査を実施し、内容の確認を行っている。H23は、帯郭西側、本丸南東虎口部、南虎口部約200㎡の発掘調査を実施、又天守郭・天守郭周辺部・帯郭東側、本丸跡平坦部・本丸北斜面の保存整備実施設計を実施。併せて、見学路赤砂利ルート整備も行い、伝建事業とも一体的に捉え観光振興・地域活性化を進める。	史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金(国・県費) 9,100千円 合併特例債 10,400千円	

備考	
-----------	--

事業名	染田天神講連歌堂保存修理事業	
-----	----------------	--

所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)	一般会計予算
-----	-------------------	--------

事業の目的	県指定有形民俗文化財である、室生区多田にある「染田天神講連歌堂」の保存修理を目的とする。	区分	No.	区分名
		款	9	教育費
		項	5	社会教育費
		目	4	文化財保護費
		細目	1	文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例 第10条	宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱
-------	-----------------	--------------------

総合計画	基本計画 第5章第3節 (1) 文化財の保護・活用
------	---------------------------

事業の概要	<p>染田天神は、室生区多田の地侍「多田順実」が南北朝時代禎治年間（1362～1368）に天神御影を感得し居館近くの染田に祀ったのが始まりと伝わる。周辺の都介郷の地侍層は、これを中心として「東山内天神講」を結び法楽連歌として以後、天神千句会が開催されてきたのである。現在の建物は従前の厨子部分を除いて18世紀中頃に旧形を引き継いで立て直されたものと思われる。</p> <p>総事業費 概算35,000千円（H23・242ヶ年事業）</p> <p>奈良県補助 60%</p> <p>宇陀市補助 約13%（上限3,000千円）</p> <p>地元負担 約27%</p>	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	3,000
		H23 予算額	3,000
		前年度 予算額	0
増減額	3,000		

事業の成果	<p>連歌とは和歌を母体として起こったもの、和歌の上句・下句をそれぞれ別人が詠み、それを何句も重ねて楽しむものである。</p> <p>指定年月日 平成元年3月10日</p> <p>江戸時代の建築と推定</p>	特定財源の状況	

事業の目標	平成23・24年度の2ヶ年継続事業とし、改修工事完了後、別途自動火災報知器等の設備設置が必要である。
-------	--

備考	
----	--

事業名	仮称ワールドメイプルパーク整備事業費
-----	--------------------

所管課	公園課（建設部）	一般会計予算
-----	----------	--------

事業の目的	少子高齢化によって廃校となった旧宇太小学校や旧宇太保育所を 利用し、菟田野区を「カエデのまち」として地域活性化するために、カエ デや地元特産品などを販売、産業と観光を複合させ、地域の住民等と 都市の子ども達が、カエデの観察・育苗などの体験学習をとおして、山 村・都市交流の促進をはかり、NPO法人の活力を活用しながら交流 人口の増加をはかり、衰退している地域の活性化を図る目的		
	区分	No.	区分名
	款	7	土木費
	項	4	都市計画費
	目	2	公園費
細目	2	ワールドメイプルパーク整備事業費	

根拠条例等	宇陀市古市場地区活性化計画
総合計画	第1章第5節 公園・緑地の整備

事業の概要	総事業費 220,000千円 事業期間平成20年度～24年度 5ヶ年計画で、寄贈を受けた世界の多種のカエデを有効活用するため、 廃校となった旧宇太小学校・旧宇太保育所跡を利用し、「菟田野」に行 けば世界のカエデが一同に観賞でき、菟田野区の活性化に導く取り組 みや収益・集客を高める場所(都市農山漁村総合交流促進施設及び 廃校廃屋等交流施設)の事業として、整備内容はカエデの植栽、遊歩 道・休憩所・既設プールの修景、景観を考慮した公園的整備や観賞用・ 育苗用ハウス、小学校校舎の利用(研修室・資料展示室・販売スペース 事務室)と、トイレ棟の活用による耐震補強の改修工事を行い、行政が 管理していくのではなく、市民が主体的に活動できる地元住民団体(N PO)の組織と、市民と行政が相互に協力・連携したまちづくりを目指す 事業で、農林水産省の交付金事業であります。	
	財源の内訳	
	分担金	
	使用料	
	国費	30,000
	県費	
	市債	26,300
	その他	
	一般財源	3,702
	H23 予算額	60,002
前年度 予算額	40,000	
増減額	20,002	

事業の成果	平成21年度はクラウド及び保育所跡の既存施設の撤去や基盤整 備工事完了(1期目) 継続事業のため、完了していない
-------	--

事業の目標	地元やNPO法人等に多種のカエデを育成してもらい、カエデのブランド 化を目指し、地域の特性を活かした農業・林業・商業などの各産業との 連携を図り、隣接する宇太水分神社、みくまり桜街道、うたの夢街道、 日張山他、本地域の魅力ある観光資源との複合で、地域が一体となっ たまちづくりを目指し、菟田野への人の流れを創出する。
	備考

特定財源の状況
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 30,000千円 合併特例債 26,300千円

事業名	文化財ボランティア養成講座開設事業	
-----	-------------------	--

所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)	一般会計予算
-----	-------------------	--------

事業の目的	市内には国・県・市指定文化財をはじめ、数多くの貴重な文化財が存在する。これらの貴重な文化財の保護・活用を図りまた文化財を後世に引き継いでいくために「文化財ボランティア」を養成、育成し活動を通じ歴史、文化の再認識し文化財愛護思想の高揚、地域文化財の保護、顕彰を図ることを目的とする。	
	区分	No. 区分名
	款	9 教育費
	項	5 社会教育費
	目	4 文化財保護費
細目	1 文化財保護費	

根拠条例等	文化財ボランティア養成講座実施要綱
-------	-------------------

総合計画	基本計画 第5章第3節 (4) 芸術文化活動の振興
------	---------------------------

事業の概要	ボランティア活動を通して市民のみなさまに文化財への理解と愛着を深めていただき、愛護思想や学習意欲を啓発するためにも市民と行政との協働が望まれるところです。宇陀市民で、ボランティアをしたい方・文化財に興味がある方・地域のことを学びたい方を対象に講座を開設いたしました。 7月から12月までの間、年6回開催	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	10
		H23 予算額	10
		前年度 予算額	79
		増減額	▲ 69

事業の成果	宇陀市内各区から15名の参加者があり、初年度6回、初級編として「宇陀の歴史」「宇陀の考古学」「宇陀の美術工芸・建造物」「現地研修」等の講座を実施しました。又「まがたまづくり」「こどもフェスタ」等のイベントスタッフとして参加・協力いただきました。	特定財源の状況	

事業の目標	講座としては2年継続で初級を終了し、その後中級・上級へと進んでいただきます。講座修了者には仮称「文化財市民ボランティア」として登録・認定していく予定です。将来的には「指導ボランティア」「運営ボランティア」「活動ボランティア」等専門分野で活動していただく予定です。
-------	---

備考	
----	--

事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道岩室小附本線			
所管課	建設課（建設部）		一般会計予算	
事業の目的	国道166号から市道春日野依線までの地域住民の利便性を考慮しつつ、うだ・アニマルパークへのアクセス道路として、また市街地周辺主要道路のバイパスとして、観光アクセス道路として安全かつ円滑な通行を確保するために道路整備を行う。	区分	No.	区分名
		款	7	土木費
		項	2	道路橋梁費
		目	3	道路新設改良費
		細目	10	社会資本整備交付金事業（岩室小附本線）

根拠条例等	「道路法16条」(市町村道の管理)[市道の新設、改築、維持、修繕]
総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上

事業の概要	<p>「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」</p> <p>全体計画年度 H15～23年度(全体事業費 569,000千円)</p> <p>全体計画の概要 工事延長 L=785m 道路改良工事 道路幅員W=6.75m 歩道幅員W=2.50m</p> <p>H23年度事業費 102,750千円 (L=124m)</p> <p>奈良県との委託契約 用地・補償費</p>	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	60,000
		県費	
		市債	40,000
		その他	
		一般財源	2,750
		H23 予算額	102,750
		前年度 予算額	63,000
		増減額	39,750
事業の成果 ・効果	宇陀市大宇陀区内の主要動線である岩室小附本線を整備することにより地域住民及び市内外の利用者の安全性を向上させる。	特定財源の状況	
		社会資本整備総合交付金 60,000千円	
事業の目標	当路線を整備することにより、うだ・アニマルパークや重伝建地区、松山城跡等への観光ルートとしての役割が期待できる。	地方道路整備事業債 40,000千円	
備考			

事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道平井比布線	
-----	-----------------------	--

所管課	建設課（建設部）	一般会計予算
-----	----------	--------

事業の目的	県道榛原菟田野御杖線と県道内牧菟田野線を結び、宇陀市の市道として重要な役割を果たす市道平井比布線の路面舗装の痛みが激しいことから、菟田野区平井地内(1000m)の区間において、本事業により計画的に舗装補修などを行うものである。		
	区分	No.	
	区分名		
	款	7	土木費
	項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費	
細目	11	社会資本整備交付金事業(平井比布線)	

根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)
-------	---------------------

総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上
------	--------------------------------------

事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」 全体計画年度 H23~24年度(全体事業費 58,000千円) 全体計画の概要 道路舗装修繕 L(延長)=1,000m W(幅員)=6.0m H23年度事業費 20,750千円 (L=500m) 全体測量設計、及び工事請負費	財源の内訳																			
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>12,000</td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>750</td></tr> <tr><td>H23予算額</td><td>20,750</td></tr> <tr><td>前年度予算額</td><td>0</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>20,750</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費	12,000	県費		市債	8,000	その他		一般財源	750	H23予算額	20,750	前年度予算額	0	増減額
分担金																					
使用料																					
国費	12,000																				
県費																					
市債	8,000																				
その他																					
一般財源	750																				
H23予算額	20,750																				
前年度予算額	0																				
増減額	20,750																				

事業の成果・効果	宇陀市内、奈良県東部を東西に結ぶ主要動線である平井比布線を補修整備することによって、安全性を向上させた。	特定財源の状況
		社会資本整備総合交付金 12,000千円 過疎債 8,000千円

事業の目標	当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。
-------	-------------------------

備考	
----	--

事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道西峠山辺三線	
-----	------------------------	--

所管課	建設課 (建設部)	一般会計予算
-----	-----------	--------

事業の目的	市道西峠山辺三線は、国道369号線及び国道165号線から天満台住宅団地への主要な生活道路であり、歩道部は通園・通学路のルートで、車道部は通勤・通学のバス運行経路の道路である。近年、大型車両等の通行により舗装面の状態が悪く、道路管理者で実施している簡易な補修では対応できない状況である。	
	区分	No.
	区分名	
	款	7
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	10	社会資本整備交付金事業 (西峠山辺三線)

根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)
-------	---------------------

総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上
------	--------------------------------------

事業の概要	<p style="text-align: center;">「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」</p> <p>全体計画年度 H22~23年度(全体事業費 80,000千円)</p> <p>全体計画の概要 工事延長 L=1,250m 道路舗装工事 道路幅員W=6.0m</p> <p>H23年度事業費 25,787千円 (L=350m) 道路舗装工事</p>		財源の内訳	
			分担金	
		使用料		
		国費	15,000	
		県費		
		市債	10,000	
		その他		
		一般財源	787	
		H23 予算額	25,787	
		前年度 予算額	55,850	
		増減額	▲ 30,063	

事業の成果・効果	宇陀市榛原区内の主要路線である西峠山辺三線を補修整備することによって付近住民の安全性を向上させる。	特定財源の状況	
		社会資本整備総合交付金 15,000千円	
		地方道路整備事業債 10,000千円	

事業の目標	当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。
-------	-------------------------

備考	
----	--

事業名	都市計画道路東町西峠線道路整備事業	
-----	-------------------	--

所管課	都市計画課（建設部）	一般会計予算
-----	------------	--------

事業の目的	昭和51年8月6日に都市計画決定を行い、国道165号線萩原交差点から市道玉立2号線(延長1310m)について、広域的な交通処理機能や市街地の空間形成等に配慮して、都市の骨格となる道路整備を行うものである。	区分	No.	区分名
		款	7	土木費
		項	4	都市計画費
		目	3	まちづくり推進事業費
		細目	2	榛原区まちづくり推進費

根拠条例等	都市計画法
総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上

事業の概要	<p style="text-align: center;">「まちづくり交付金事業(国交省)」</p> <p>全体計画年度 H20~H24年度(全体事業費 1,345,000千円)</p> <p>全体計画の概要 道路整備事業</p> <p style="text-align: center;">L(延長)=360m W(幅員)=12.0m</p> <p style="text-align: center;">車道3.5m交互通行 歩道2.5m両側歩道</p> <p>H23年度事業費 485,000千円</p> <p>道路整備工事、用地及び補償費、家屋調査費ほか</p>	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	146,000
		県費	
		市債	322,000
		その他	
		一般財源	17,000
		H23 予算額	485,000
		前年度 予算額	471,091
増減額	13,909		

事業の成果	近鉄榛原駅北口広場へのアクセス強化と駅南口広場の交通渋滞の緩和を図る。	特定財源の状況	
		社会資本整備総合交付金 143,000千円	
		合併特例債 316,300千円	

事業の目標	近鉄榛原駅を中心とした整備改善による、交通利便性や歩行者の安全の向上を行う。
備考	

事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道小倉室生線	
-----	-----------------------	--

所管課	建設課 (建設部)	一般会計予算
-----	-----------	--------

事業の目的	市道小倉室生線は、国道25号線(名阪国道)から国道165号線を経由し国宝である室生寺を結ぶ主要な観光アクセス道路であり四季を問わず県内外からの多くの来訪者の利用がある。 しかしながら、近年の通行車両の大型化等により舗装面の状態が悪く、道路管理者で実施している簡易な補修では対応できない状況にある。	
	区分	No.
	区分名	
	款	7 土木費
	項	2 道路橋梁費
目	3 道路新設改良費	
細目	10 社会資本整備交付金事業(小倉室生線)	

根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上

事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」	
	全体計画年度	H22~25年度(全体事業費 200,000千円)
事業の概要	全体計画の概要	工事延長 L=6,300m 道路舗装工事 道路幅員W=7.0m
	H23年度事業費	30,925千円 (L=430m) 道路舗装工事
財源の内訳		
		分担金
		使用料
		国費 18,000
		県費
		市債 12,000
		その他
		一般財源 925
		H23 予算額 30,925
		前年度 予算額 35,850
		増減額 ▲ 4,925

事業の成果・効果	宇陀市室生区小原~三本松地内の主要路線である小倉室生線を補修整備することによって付近住民及び観光客の安全性を向上させる。
	特定財源の状況
社会資本整備総合交付金 18,000千円	
過疎債 12,000千円	

事業の目標	当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。
備考	

事業名	道路整備事業 道路舗装等維持補修工事 (きめ細かな交付金事業)	
-----	------------------------------------	--

所管課	建設課 (建設部)
-----	-----------

事業の目的	市道1, 681路線、総延長約732kmの内、特に生活と密着した道路の維持補修を実施し、生活環境の安全性、利便性の向上を図る。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	4	きめ細かな交付金事業

根拠条例等	道路法42条(道路の維持又は修繕)
-------	-------------------

総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上
------	--------------------------------------

事業の概要	<p style="text-align: center;">平成23年度予算積算概要</p> <p>宇陀市内における市道で、安心して利用できる道路整備を行う。 特に、年々老化している道路構造物で道路表面の舗装補修や道側溝の補修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宇陀区 春日野依線、春日藤井線等 ・菟田野区 宇賀志日張山線、菟田野362号線等 ・榛原区 玉立2号線、山辺三19号線等 ・室生区 四ヶ村線、西谷中央線等
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	20,864
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	1,136
H23 予算額	22,000
前年度 予算額	85,000
増減額	▲ 63,000

事業の成果	市民の安全なネットワークの確保。
-------	------------------

事業の目標	誰もが安心安全で、生き生きと暮らせる地域づくりの推進。
-------	-----------------------------

特定財源の状況
きめ細かな交付金 20,864千円

備考	
----	--

事業名	道路維持事業 道路舗装等維持補修工事		
所管課	建設課 (建設部)		一般会計予算
事業の目的	市道1,681路線、総延長約732kmの内、特に生活と密着した道路の維持補修を実施し、生活環境の安全性、利便性の向上を図る。	区分	区分名
		款	7 土木費
		項	2 道路橋梁費
		目	2 道路維持費
		細目	1 道路維持費

根拠条例等	道路法42条(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上

事業の概要	平成23年度予算積算概要	財源の内訳	
	宇陀市内における市道で、安心して利用できる道路整備を行う。 特に、年々老化している道路構造物で道路表面の舗装補修や道側溝の補修を実施する。 ・大宇陀区 野依篠楽線、本郷二支会線等 ・菟田野区 菟田野707号線等 ・榛原区 天満台地内他 ・室生区 大野三本松線、五ヶ谷線他	分担金	
事業の成果 ・効果	市民の安全なネットワークの確保。	使用料	
		国費	
事業の目標	誰もが安心安全で、生き生きと暮らせる地域づくりの推進。	県費	
		市債	
備考		その他	
		一般財源	28,000
		H23 予算額	28,000
		前年度 予算額	28,000
		増減額	0
		特定財源の状況	

事業名	県営一般農道整備事業			
所管課	農林課 (農林商工部)			
事業の目的	農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営で実施。			
			一般会計予算	
			区分	区分名
			款	5 農林水産業費
			項	1 農業費
目	6 農業土木費			
細目	1 農業土木費			

根拠条例等	「土地改良法第91条第6項」(都道府県営土地改良事業の分担金等)
総合計画	基本計画 第3章第2節 (2)生活道路の整備 生活の利便性の向上

事業の概要	延長 L = 3,390m(内H21.4.1 一部供用開始 L = 1,140m) 幅員 全幅W = 7.0m 車道W = 5.5m 総事業費 1,768,000千円 工期 平成9年度～平成27年度(予定) 起終点 宇陀市室生区向測(主要地方道:吉野室生寺針線) ~ 三本松(市道:小倉室生線<奥宇陀広域農道> 負担割合 国50% : 県35% : 市15%	財源の内訳	
		分担金	
事業の成果	中山間地域の農林業生産力の向上が図れる。	使用料	
		国費	
事業の目標	農業経営の合理化 農業生産力の向上	県費	
		市債	1,500
備考		その他	
		一般財源	
		H23 予算額	1,500
		前年度 予算額	1,575
		増減額	75
		特定財源の状況	
		過疎債 1,500千円	

事業名	社会資本整備総合交付金事業(長寿命化修繕計画策定業務)
-----	-----------------------------

所管課	建設課 (建設部)	一般会計予算
-----	-----------	--------

事業の目的	道路交通の安全を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化修繕計画を策定するための点検を行う。	区分	No.	区分名
		款	7	土木費
		項	2	道路橋梁費
		目	3	道路新設改良費
		細目	93	社会資本整備総合交付金事業(長寿命化修繕計画策定業務)

根拠条例等	道路法42条(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章第2節 (1)幹線道路の整備

事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」 全体計画年度 H23~25年度(全体事業費 12,000千円) 全体計画の概要 重要路線の橋梁99橋の橋梁点検及び計画策定 H23年度事業費 5,000千円 (40橋) 橋梁長寿命化修繕計画に伴う保守点検委託料 (奈良県補完に伴い県に委託予定)	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	3,000
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	2,000
		H23 予算額	5,000
		前年度 予算額	0
増減額	5,000		

事業の成果	宇陀市内の重要路線、長大橋の保守点検、修繕計画を策定することにより、架け替え、維持補修経費の削減を図り、道路橋梁の安全を確保とコスト縮減を図る。	特定財源の状況	
		社会資本整備総合交付金 3,000千円	
事業の目標	当市で管理する橋梁の安全確保。		
備考			

事業名	水道未普及地解消事業(松井簡易水道事業)
-----	----------------------

所管課	工務課 (水道局)
-----	-----------

事業の目的	当地域は、井戸及び取水を生活用水として使用しています。また渇水期になると枯渇する井戸もあり、安定した水量も得られず生活に支障をきたしている状況にある。本事業を実施することにより安定した水量、安全な水質を確保でき生活基盤の改善が図られる。	一般会計予算		
		区分	No.	区分名
		款	1	総務費
		項	2	施設整備費
		目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費		

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備

事業の概要	①佐倉地内幹線管路埋設工事(佐倉高区配水池～佐倉峠) 23-1工区 φ150mm L=700m 消火栓4基 ②大熊地内集落内給配水管工事 φ100～50mm L=1,150m 消火栓2基 給水戸数5戸 ③舗装本復旧工事(H20実施区間) 舗装面積A=2,100㎡	財源の内訳	
		分担金	2,100
		国費	15,600
		県費	
		辺地債	11,600
		簡水債	11,600
		一般財源	1,600
		H23 予算額	42,500
		前年度 予算額	48,200
		増減額	▲ 5,700

事業の成果	給水区域を拡張したことにより生活環境の改善、公衆衛生の向上がみられた。また消火栓設置した事から防災面でも拡充されてきた。	特定財源の状況	
		工事負担金	2,100千円
		辺地債	11,600千円
		簡易水道債	11,600千円

事業の目標	平成23年度に県道佐倉大宇陀線の大熊から佐倉峠まで幹線管路を埋設しますとメイン管が全て整備されたこととなります。続いて大熊集落地内へ配水管を延ばし給水戸数を増やす予定である。今後は東平尾、下片岡、上片岡、宇賀志、佐倉地区の各集落へ給水施設整備することにより、量的な安定と安全な水質の確保を図る。
-------	---

備考	
----	--

事業名	水道未普及地解消事業(田原簡易水道事業)
-----	----------------------

所管課	工務課 (水道局)
-----	-----------

事業の目的	<p>当地域は、井戸及び取水を生活用水として使用しています。また渇水期になると枯渇する井戸もあり、安定した水量も得られず生活に支障をきたしている状況にある。本事業を実施することにより安定した水量、安全な水質を確保でき生活基盤の改善が図られる。</p>
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備

事業の概要	<p>①守道(下出)集落内給配水管工事</p> <p>田原14工区 φ75mm L=674m φ40mm以下 L=344m 消火栓5基 給水戸数10戸</p> <p>②佐倉低区配水池からの基幹管路整備工事</p> <p>田原15工区 φ150mm L=900m 消火栓3基</p>
-------	--

財源の内訳	
分担金	3,500
使用料	
国費	12,200
県費	
市債	18,200
その他	
一般財源	1,100
H23 予算額	35,000
前年度 予算額	39,000
増減額	▲ 4,000

事業の成果	<p>給水区域を拡張したことにより生活環境の改善、公衆衛生の向上がみられた。また消火栓設置した事から防災面でも拡充されてきた。</p>
-------	---

特定財源の状況	
工事負担金	3,500千円
簡易水道施設等整備費補助金	12,200千円
簡易水道債	18,200千円

事業の目標	<p>田原、栗野、牧集落は、施設整備がされました。守道、山口、白鳥居、上品下品、和田は、未整備で井戸原水の汚染や枯渇により毎日の生活に不安がつきまるとおり水量的な安定と安全な水質の確保を図るため、水道未普及地解消事業のメニューから衛生的な飲料水の確保し、住民の生活基盤の向上と地域の振興を図るものである。</p>
-------	--

備考	
----	--

事業名	大宇陀簡易水統合整備事業(中央と東部統合)	
-----	-----------------------	--

所管課	工務課 (水道局)
-----	------------

事業の目的	心の森福祉ゾーン一帯は、丘陵地に位置していることから、中央簡易水道区域としては水圧・水量共に日常苦慮している状況にあり、一時的に南部簡易水道区域からの水により補充している。この地域周辺の水量、水圧不足を早期に解消するため中央・東部簡易水道を連絡管にて結び水道施設改善整備を行う。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備

事業の概要	水道送水管工事(H22年度終点～心の森) 大宇陀3工区 φ150 φ75 L=527m 消火栓2基
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	4,249
県 費	
市 債	12,700
その他	
一般財源	1,051
H23 予算額	18,000
前年度 予算額	37,400
増減額	▲ 19,400

事業の成果	平成22年3月に事業認可を得ました中央・東部簡易水道区域は、ひとつ大宇陀簡易水道給水区域となった。福祉ゾーンとしての施設をより充実し安全・安心な水が安定して供給されるようになり、災害時の避難場所としての機能をもつ貯水槽も建設された。
-------	--

特定財源の状況	
簡易水道施設等整備費補助金	4,249千円
簡易水道債	12,700千円

事業の目標	心のもり福祉ゾーン一帯の水圧・水量不足の解消。 南部簡易水道施設の稼働率を100%を正常な70%に戻す。
-------	---

備 考	
-----	--

事業名	宇陀市第5受水池建設事業(簡易水道統合)
-----	----------------------

所管課	工務課 (水道局)
-----	------------

事業の目的	奈良県水道局は、平成26年度に室生大野・三本松へ県営水道を送ること現実となったことから、室生川の水利権が消滅する暫定水利であること、内山浄水場の老朽化に伴う大改造をする必要がなくなったこと等により、三本松に受水池を建設し県営水道に水源変更し、古大野飲料水供給施設と統合することとした。
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備

事業の概要	宇陀市第5受水池建設事業(簡易水道統合) 受水池建設に伴う実施設計業務 建設地面積約A=800㎡ 池容量700㎡程度 用地買収面積約1,000㎡ 立木補償
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	6,625
県 費	
市 債	19,800
その他	
一般財源	75
H23 予算額	26,500
前年度 予算額	12,000
増減額	14,500

事業の成果	宇陀川と室生川を原水として内山浄水場で水をつくり、三本松配水池にポンプ加圧して溜めています。これを県営水道の水源に切り替えることにより浄水場の運転経費及び維持管理経費削減につながります。古大野飲料水供給施設においてもこの給水区域と統合することにより、室生中央簡易水道区域として安全・安心な水が安定的に供給できる。
-------	--

特定財源の状況
簡易水道施設等整備費補助金 6,625千円
過疎債 9,900千円
簡易水道債 9,900千円

事業の目標	簡易水道各施設の維持管理経費の削減。 宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくり
-------	--

備 考	
-----	--

事業名	水道未普及地解消事業(高井配水池系上水道事業)
-----	-------------------------

所管課	工務課(水道局)
-----	----------

事業の目的	<p>当地域は、井戸及び取水を生活用水として使用しています。また渇水期になると枯渇する井戸もあり、安定した水量も得られず生活に支障をきたしている状況にある。本事業を実施することにより安定した水量、安全な水質を確保でき生活基盤の改善が図られる。</p>
-------	---

上水道事業会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	2	水道建設事業費
細目	2	工事請負費

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備

事業の概要	<p>①初生集落内給配水管工事 φ75~50mm L=710m 消火栓 1基</p> <p>②桧牧集落内給配水管工事 φ150mm L=300m φ100mm L=400m 減圧弁 1基</p> <p>③舗装本復旧工事(赤埴、八滝地区H19~H21年度実施箇所) 舗装面積A=3,200㎡</p>
-------	--

財源の内訳	
分担金	3,000
使用料	
国費	30,600
出資債	18,000
企業債	18,000
その他	9,900
一般財源	
H23 予算額	79,500
前年度 予算額	62,300
増減額	17,200

事業の成果	給水区域を拡張したことにより生活環境の改善、公衆衛生の向上がみられた。また消火栓設置した事から防災面でも拡充されてきた。
-------	--

特定財源の状況
<p>工事負担金550千円/戸 給水分担金250千円/戸 その他 内部留保資金</p>

事業の目標	平成10年度に事業認可を得て以来、高井、赤埴甲地区、赤埴乙地区、八滝、自明へと水道管を延長し平成25年度に桧牧悠楽園まで施設整備を行いますと事業完了となり、この高井配水池系給水区域の市民が安全で安心な水が安定的に供給できる施設整備区域となる。
-------	---

備考	
----	--

事業名	水道未普及地解消事業(大王地区上水道事業)	
-----	-----------------------	--

所管課	工務課 (水道局)
-----	------------

事業の目的	当地域は、井戸及び取水を生活用水として使用しています。また渇水期になると枯渇する井戸もあり、安定した水量も得られず生活に支障をきたしている状況にある。本事業を実施することにより安定した水量、安全な水質を確保でき生活基盤の改善が図られる。
-------	--

上水道事業会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	2	水道建設事業費
細目	2	工事請負費

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備

事業の概要	水道管理設に伴う舗装本復旧工事 雨師、安田、笠間、柳地内 舗装面積A=15,300㎡
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	12,896
出資債	10,000
企業債	10,000
その他	10,790
一般財源	4
H23 予算額	43,690
前年度 予算額	54,500
増減額	▲ 10,810

事業の成果	給水区域を拡張したことにより生活環境の改善、公衆衛生の向上がみられた。また消火栓設置した事から防災面でも拡充されてきた。
-------	--

特定財源の状況	
その他	内部留保資金

事業の目標	平成13年度に事業認可を得ました当大王地区は、上井足、篠楽、雨師、安田、笠間、心境荘園、柳地区に給水可能となり、安心して安全な水が安定的に供給できる整備区域となった。平成23年度は、舗装本復旧のみ残ることとなった。
-------	---

備 考	
-----	--

事業名	菟田野区古市場7-135号枝線工事			
所管課	下水道課（水道局）		一般会計予算	
事業の目的	菟田野区の既存埋設管の有効利用を含め、始点地蔵が辻交差点、終点辻村病院前まで下水道管布設整備をし、供用可能箇所を拡大する。	区分	No.	区分名
		款	1	下水道費
		項	2	公共下水道建設費
		目	1	公共下水道建設費
		細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節 下水道の整備 下水道施設整備

事業の概要	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">工事請負費</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> </table>	工事請負費	10,000	財源の内訳																	
	工事請負費	10,000																			
<p>「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」</p> <p>全体計画年度 H20~H23年度 全体計画の概要 実施設計及び布設管工事 L=250.0m</p> <p>H23年度の事業費 10,000,000円 汚水管Φ=200mm L=100m</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="background-color: yellow;">分担金</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">使用料</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">国費</td><td style="text-align: right;">5,000</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">県費</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">市債</td><td style="text-align: right;">5,000</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">その他</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">一般財源</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">H23 予算額</td><td style="text-align: right;">10,000</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">前年度 予算額</td><td style="text-align: right;">6,000</td></tr> <tr><td style="background-color: yellow;">増減額</td><td style="text-align: right;">4,000</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費	5,000	県費		市債	5,000	その他		一般財源		H23 予算額	10,000	前年度 予算額	6,000	増減額	4,000
分担金																					
使用料																					
国費	5,000																				
県費																					
市債	5,000																				
その他																					
一般財源																					
H23 予算額	10,000																				
前年度 予算額	6,000																				
増減額	4,000																				
事業の成果	既設管利用し辻村病院を含めた供用可能区域を拡大できる。	特定財源の状況																			
事業の目標	地域の実情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施する。	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>社会資本整備総合交付金</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> </tr> <tr> <td>公共下水道債</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> </tr> </table>	社会資本整備総合交付金	5,000	公共下水道債	5,000															
社会資本整備総合交付金	5,000																				
公共下水道債	5,000																				
備考																					

事業名	効率的施設計画策定委託			
所管課	下水道課（水道局）			
事業の目的	社会経済情勢や市民生活の実情を踏まえ、現行の下水道計画区域を見直す。	区分	No.	区分名
		款	1	下水道費
		項	2	公共下水道建設費
		目	1	公共下水道建設費
		細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節 下水道の整備 下水道施設整備

事業の概要	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">委託料</td> <td style="text-align: right;">8,000</td> </tr> </table>	委託料	8,000	財源の内訳																	
	委託料	8,000																			
<p>「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」</p> <p>全体計画年度 H23年度 全体計画の概要 効率的な施設計画の見直し A=1,025.4ha → 975.1ha H23年度の事業費 8,000,000円 内容は単年度施工のため上に同じ</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td style="text-align: right;">4,000</td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td style="text-align: right;">4,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>H23 予算額</td><td style="text-align: right;">8,000</td></tr> <tr><td>前年度 予算額</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>増減額</td><td style="text-align: right;">8,000</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費	4,000	県費		市債	4,000	その他		一般財源		H23 予算額	8,000	前年度 予算額	0	増減額	8,000
分担金																					
使用料																					
国費	4,000																				
県費																					
市債	4,000																				
その他																					
一般財源																					
H23 予算額	8,000																				
前年度 予算額	0																				
増減額	8,000																				
事業の成果	計画区域内にありながら依然下水道管の布設が進捗していない区域に対し、浄化槽の対応が可能になり、汚水処理の範囲が拡大される。	特定財源の状況																			
事業の目標	認可区域外を浄化槽で対応することにより、水質が保全できる。																				
備考																					

社会資本整備総合交付金	4,000
公共下水道債	4,000

事業名	宇陀市地籍調査事業(新規着手分)			
所管課	地籍調査課 (農林商工部)		一般会計予算	
事業の目的	宇陀市を区域とする民有地及び公有地の保全及びにその利用の高度化に資するため、地籍の明確化を図る。	区分	No.	区分名
		款	5	農林水産業費
		項	1	農業費
		目	5	地籍調査費
		細目	1	本庁地籍調査費

根拠条例等	国土調査法第6条の4 (事業計画の実施等)
総合計画	基本計画 第3章 第1節 (1)良好な住環境の形成 地籍の明確化

事業の概要	平成23年度新規実施地区 榛原檜牧第1期地区 実施面積 0.71 km ² 筆数 658 筆 実施工程 地籍図根三角・多角測量、地籍細部測量 一筆地調査 《檜牧地区全体計画》 平成24年度 第2期地区 0.99km ² 平成25年度 第3期地区 0.60km ² 平成26年度 第4期地区 0.74km ² 全体面積 3.04km ²	財源の内訳																			
		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>11,770</td></tr> <tr><td>県費</td><td>5,885</td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>5,936</td></tr> <tr><td>H23 予算額</td><td>23,591</td></tr> <tr><td>前年度 予算額</td><td>0</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>23,591</td></tr> </table>	分担金		使用料		国費	11,770	県費	5,885	市債		その他		一般財源	5,936	H23 予算額	23,591	前年度 予算額	0	増減額
分担金																					
使用料																					
国費	11,770																				
県費	5,885																				
市債																					
その他																					
一般財源	5,936																				
H23 予算額	23,591																				
前年度 予算額	0																				
増減額	23,591																				
事業の成果	[成果] 地籍調査着手地区数・面積 64地区・49.72km ² [効果] ①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の縮減 ④公共事業の効率化 ⑤公共物管理の適正化 ⑥土地有効活用の促進	特定財源の状況																			
事業の目標	地籍調査未実施地区183km ² の早期完遂	地籍調査事業費負担金 (国・県費)																			
備考																					

事業名	合併処理浄化槽整備事業	
-----	-------------	--

所管課	環境対策課（市民環境部）	一般会計予算
-----	--------------	--------

事業の目的	生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適で潤いのある生活環境を公共用水域の水質保全のため、事業を推進する。	区分	No.	区分名
		款	4	衛生費
		項	2	清掃費
		目	3	合併処理浄化槽整備事業費
		細目	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費

根拠条例等	「宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱」
-------	---------------------------

総合計画	基本計画 第1章第3節 循環型社会の構築 廃棄物等の処理体制の充実
------	-----------------------------------

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳	
	合併処理浄化槽整備事業補助金		分担金	
	5人槽	332,000円×11基=3,652,000円	使用料	
	7人槽	414,000円×29基=12,006,000円	国費	5,219
	協議会負担金	29,000円	県費	5,219
	合計	15,687,000円	市債	
			その他	
			一般財源	5,249
			H23 予算額	15,687
			前年度 予算額	15,695
		増減額	▲8	

事業の成果	平成21年度 事業成果				
	5人槽	7基	整備率	室生区	39.66%
	7人槽	18基		菟田野区	27.96%
	10人槽	1基		榛原区	33.31%
	14人槽	1基		大宇陀区	27.48%
特定財源の状況					
合併処理浄化槽設備事業補助金(国・県費)					

事業の目標	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目標に整備を推進していく。
	下水道整備と併せて、合併処理浄化槽の普及に努めて行く。

備考	
----	--

事業名	ごみの減量・資源化促進事業		
所管課	環境対策課（市民環境部）		
事業の目的	ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、再資源集団回収の充実をはかり市民一人ひとりの意識の高揚を図る。		
	一般家庭の生ごみについて、堆肥化を促進するため、生ごみ処理機・コンポストの普及に努めます。		
	一般会計予算		
	区分	No.	区分名
	款	4	衛生費
項	1	保健衛生費	
目	8	環境衛生費	
細目	1	本庁環境衛生費	

根拠条例等	「宇陀市集団資源回収助成金交付要綱」 「宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱」
総合計画	基本計画 第1章第3節 循環型社会の構築 ごみの減量・資源化の促進

事業の概要	平成23年度予算積算概要	財源の内訳																															
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>公衆浴場補助金</td> <td style="text-align: right;">50</td> </tr> <tr> <td>集団資源回収助成金</td> <td style="text-align: right;">1,944</td> </tr> <tr> <td>生ごみ処理機購入助成金</td> <td style="text-align: right;">800</td> </tr> <tr> <td>不法投棄防止施設設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">100</td> </tr> <tr> <td>地元協力補償金(し尿処理中継地)</td> <td style="text-align: right;">200</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">3,094</td> </tr> </table>	公衆浴場補助金	50	集団資源回収助成金	1,944	生ごみ処理機購入助成金	800	不法投棄防止施設設置事業補助金	100	地元協力補償金(し尿処理中継地)	200	合 計	3,094	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国 費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市 債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">3,094</td> </tr> <tr> <td>H23 予算額</td> <td style="text-align: right;">3,094</td> </tr> <tr> <td>前年度 予算額</td> <td style="text-align: right;">3,084</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> </table>	分担金		使用料		国 費		県 費		市 債		その他		一般財源	3,094	H23 予算額	3,094	前年度 予算額	3,084	増減額
公衆浴場補助金	50																																
集団資源回収助成金	1,944																																
生ごみ処理機購入助成金	800																																
不法投棄防止施設設置事業補助金	100																																
地元協力補償金(し尿処理中継地)	200																																
合 計	3,094																																
分担金																																	
使用料																																	
国 費																																	
県 費																																	
市 債																																	
その他																																	
一般財源	3,094																																
H23 予算額	3,094																																
前年度 予算額	3,084																																
増減額	10																																

事業の成果	集団資源回収量 624,000kg(平成21年度) 生ごみ処理機 ①コンポスト 12基(平成21年度) ②EMボカシ 1基(平成21年度) ③生ごみ処理機 19基(平成21年度)	特定財源の状況
事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化、資源化を進め、市全体で循環型社会を構築していく。	
備 考		

事業名	公用車エコ化事業
-----	----------

所管課	管財課(総務部)
-----	----------

事業の目的	公用車の効率的運用、適正な維持管理及び交通事故防止のため安全運転確保を図る。
-------	--

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1 3	一般管理費 財産管理費
細目	1 1	本庁一般管理費 本庁財産管理費

根拠条例等	宇陀市公用車管理規定、宇陀市有マイクロバスの使用、運行及び管理に関する要綱 他
総合計画	

事業の概要	平成23年度予算積算概要		
	□一般管理費		
	賃金	4,076	バス運転手賃金
	□財産管理費		
	燃料費	2,935	本庁共用車26台
	車検、修繕料	3,010	車検15台
	自動車損害共済掛金	3,000	一般会計車両122台
	マイクロバス維持管理費	2,685	2台
	賠償金	400	事故処理経費
	計	16,106	

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	1,153
一般財源	14,953
H23 予算額	16,106
前年度 予算額	17,774
増減額	▲ 1,668

事業の成果	1.台数削減状況(普通会計決算)			3.更新状況(共用車) (公用車エコ化事業)		
	年度	台数	削減台数	H21	13	
	H18	187		H22	4	
	H19	173	14	H21地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業		
	H20	167	6	H22地域活性化交付金(きめ細かな交付金)事業		
	H21	160	7	※H22は見込み		
	H22	152	8			
	2.売却状況					
	H18	5	1,323			
	H21	8	2,160			
H22	9	3,867				

特定財源の状況	
公用車売払収入	3
諸収入	1,150

事業の目標	適正な維持管理に努めるとともに事故防止を図る。また、温室効果ガス削減のため燃料等の削減と老朽化の著しい車両を積極的にエコカーに更新を図る。
-------	---

備考	
----	--

事業名	市ホームページリニューアル事業
-----	-----------------

所管課	秘書広報情報 課 (総務部)
-----	----------------

事業の目的	市民との情報共有化を推進するため、各課が常に住民の視点にたち、リアルタイムに情報発信できるホームページ作成環境を構築すると共に、高齢者や障がい者に優しい、アクセシビリティに配慮したウェブサイトとしてリニューアルを実施する。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	2	文書広報費
細目	61	市ホームページリニューアル事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第6章第1節 市民と行政の協働のまちづくり (1)市民との情報共有化

事業の概要	平成23年3月補正予算積算概要		
	委託料	11,287	リニューアル事業業務委託料
	備品購入費	3,440	リニューアルに係るサーバ等機器
	合計	14,727	
	(1)ソフトウェア関連 11,287,000円 本体ソフト他 2,600,000円 翻訳ソフト 1,360,000円 ウイルスソフト100,000円 仕様確認・サイト構造コンサル等 2,310,000円 システム設計・ページ移行作業等 4,707,000円 職員講習会 210,000円 (2)ハードウェア関連 3,440,000円 ホームページ用サーバ 1,466,000円 入力用端末(10台) 1,974,000円		

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国 費	13,254
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	1,473
H23 予算額	14,727
前年度 予算額	0
増減額	14,727

事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 各課において情報入力できる環境を構築することで、リアルタイムで情報発信が可能となる。 文字の大きさを容易に変えられたり、音声読み上げに対応することで、高齢者や障がい者に利用しやすい環境が作れる。 パブリックコメントやアンケート調査の実施環境の構築により、広聴機能の向上に貢献。
-------	--

特定財源の状況
地域活性化交付金 (きめ細かな交付金)

事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の向上を図ると共に、情報の更新頻度が向上することから、その効果はアクセス数の向上に現れると考えられる。現在15,000件/月平均のアクセス数を、リニューアル後1年以内に、30,000件/月平均を目指したい。
-------	--

備 考	
-----	--

事業名	コンビニエンスストア収納導入事業					
所管課	税 務 課 (財務部)					
事業の目的	コンビニエンスストアでの収納を可能にすることにより、市民をはじめ市外・県外の納税者の皆さまが、土・日曜日、祝祭日、早朝・夜間などに市税を納付しやすい環境を整備する。					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	2	総務費
				項	2	徴税费
目	2	賦課徴収費				
細目	1	本庁 賦課徴収費				

根拠条例等	
総合計画	

事業の概要	コンビニ収納関連用紙	822千円	財源の内訳	
	テスト用 $782,500円 \times 1.05 = 821,625円$		分担金	
	コンビニ収納に係る通信回線利用料	138千円	使用料	
	$100,000円 + (3,000円 \times 12ヶ月) \times 1.05 = 137,800円$		国 費	
	コンビニ収納用パソコン	210千円	県 費	
	$200,000円 \times 1.05 = 210,000円$		市 債	
		計1,170千円	その他	
			一般財源	1,170
			H23 予算額	1,170
			前年度 予算額	0
			増減額	1,170

事業の成果		特定財源の状況
事業の目標	納期内納付率と徴収率のアップをめざす。	

備 考	平成24年度より稼働に向けた準備経費。
-----	---------------------